

平成27年度
和歌山市立博物館館報

No. 31

目次

I 事業概要

1. 展観事業

常設展示	2
春季特別陳列	2
夏季特別展	4
秋季特別展	9
冬季特別陳列	11
ホール展示	12
コーナー展示	12

2. 教育普及事業

史跡散歩	13
体験学習	13
市博講座	14
古文書講座	14
休館日の博物館を探検しよう	14
校区探検	14
回想法プログラム	15
博物館実習	15
ミュージアムボランティア	16
職場体験	16
ホームページ	16

3. 調査研究事業

職員の執筆文献	16
職員の教育普及活動	18

4. 市史資料管理事業

II 収蔵資料概要

1. 購入資料概要	19
2. 受贈資料概要	19
3. 受贈図書概要	19
4. 資料の貸出	32
5. 映像資料概要	33

III 平成28年度の展望

1. 平成28年度事業予定概要	34
2. 平成28年度博物館当初予算	37

IV 資料

入館者の動向	37
アンケートの集計	39
館機構	40
博物館職員	40
和歌山市立博物館協議会委員名簿	40
和歌山市立博物館条例	41
和歌山市立博物館条例施行規則	43

I 事業概要

1. 展観事業

○常設展示

1階の常設展示室（約1,000㎡）では、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマとして、原始・古代・中世・近世・近代・民俗の6つのコーナーに分け、それぞれに関連資料を展示している。

各コーナーでは、随時資料の展示替えを行っている他に、民俗及び近世部門の一部の展示ケースを利用して「コーナー展示」を定期的の実施している。

○春季特別陳列

「古文書から探れ！地域のみちかな歴史」

〈開催期間〉4月18日(土)～5月31日(日)



〈開催日数〉37日

〈入館者数〉1,525名

〈開催趣旨〉

古文書は、地域に残る歴史を生き生きと証言してくれる、重要な歴史資料のひとつであるが、見た目は地味であるし、そこに書かれている文字は崩れていて簡単には読めない。そのため、

展示されていても素通りされがちである。

特別陳列では、あえてその古文書を中心に据えてみた。難しく取っ付きにくいものではあるが、むかしの様子を具体的に物語ってくれる古文書は、とても面白く魅力的なものである。和歌山市立博物館所蔵・寄託の古文書を展示し、地域の歴史を物語る古文書の魅力、そしてわれわれの身近に根付いている歴史の奥深さを紹介する。

〈展示構成〉

I イン트로ダクションー古文書とはー

II むらのくらし

III まちのくらし

IV 海と川とともに生きる

〈展示解説〉

5月2日(土)・5日(月)・16日(土)

13時30分～14時30分

〈出陳目録〉

I イン트로ダクション

資料名称	所蔵者
足利尊氏御判御教書	歙喜寺
織田信長朱印状	個人
徳川吉宗書状	和歌山市立博物館
陸奥宗光書簡	和歌山市立博物館

II むらのくらし

農耕図屏風	和歌山市立博物館
紀伊州御検地帳写全	個人
御検地帳写 禰宜村 元禄十年写	個人
和佐村大字禰宜小字図	和歌山市立博物館
来西毛付前本計普請積帳	個人
新破損留	個人
来栖村地籍図	和歌山市立博物館
沙弥定宗屋敷畠寄進状	歙喜寺
歙喜寺衆議定状	歙喜寺
免定	文化振興課
免定之願	文化振興課
山名寄帳写 禰宜村	個人
覚（和佐山伐採樹木本数書上）	文化振興課

一札之事（和佐・小倉立会の山の定書）	文化振興課
名草・那賀立合場絵図写	個人
小倉村和佐村立会人踏査実測図	和歌山市立博物館
道巾改帳	個人
御奉公人諸職調帳	個人
諸鑑札取調御達帳	個人
切支丹宗門御改帳 和佐組	文化振興課
切支丹宗門御改人別印形帳 松島村	文化振興課
切支丹宗門御改帳 新在家村	文化振興課
就切支丹宗門御改帳 加納村	文化振興課
切支丹宗門御改帳 松島新田村	文化振興課
切支丹宗門御改帳 和佐組	文化振興課
申年宗門御改帳人別帳 和佐中村	文化振興課
未切支丹宗門御改帳 和佐関戸村	文化振興課
切支丹宗門御改帳 井之口村	文化振興課
男女人別御改帳 禰宜村	文化振興課
末年宗門御改帳 下和佐村	文化振興課
切支丹宗門御改帳 布施屋村	文化振興課
里紫根作方伝授書扣	個人
紫染小袖	和歌山市立博物館
挨拶心覚（巡見使）	個人
見聞記写	個人
郡割中 諸御用留	個人
留帳 式番	文化振興課
御触書	個人
松島村七右衛門切殺候節諸事扣	文化振興課
受取申帳面之事	文化振興課

Ⅲ まちのくらし

和歌山城下町絵図（複製）	和歌山市立博物館
家屋敷売渡証文	個人
借用証文（質物・家屋敷）	個人
永代売渡申家屋敷之事	個人
借家間取図	和歌山市立博物館
桶屋仲間由緒書	個人
御触書（質屋仲間）	個人
質屋仲間御定書帳	個人
質屋店間取図	和歌山市立博物館

御蔵積り仕様覚扣（蔵建築見積書）	和歌山市立博物館
質屋仲間鑑札	和歌山市立博物館
大立寺玄関等積り覚（見積書）	和歌山市立博物館
若山出火御定之火消出人足半減ニ被仰付持出諸道等割府帳	文化振興課
町火消装束	和歌山市立博物館
火事場装束（女性用）一式	和歌山市立博物館
竜吐水	和歌山市立博物館
水火異死非常扣	個人
鎮火心得事	個人
種姫様御入輿勝手不如意につき俵約書付	和歌山市立博物館
種姫婚礼行列図	和歌山市立博物館
よし姫様縁組内約につき覚書	和歌山市立博物館
修省婚礼之覚	個人
結納目録	和歌山市立博物館
御忌服伺書御付札写	和歌山市立博物館
忌服につき届書例写	和歌山市立博物館
湯治願（有馬・難波）	和歌山市立博物館
湯治願（白浜）	和歌山市立博物館
湯治願（摂津多田）	和歌山市立博物館
摂津名所図会	和歌山市立博物館
紀伊名所図会	和歌山市立博物館
白浜絵図	個人
和歌祭行列絵図	和歌山市立博物館
和歌御祭礼御神事御発輿御帰国御用留	和歌山市立博物館
和歌御祭礼ニ付御幕御長柄鑓御出し被遊候扣	和歌山市立博物館
和歌御祭礼御代参勤覚 三浦長門守	和歌山市立博物館
和歌御祭礼御名代覚	和歌山市立博物館

Ⅳ 川と海に囲まれて

紀の川流路図	個人
鼠島願書扣	和歌山市立博物館
乍恐奉願上口上	和歌山市立博物館
鼠島見地図	和歌山市立博物館
鼠島絵図	和歌山市立博物館
芦場入絵図	和歌山市立博物館
鼠島絵図	和歌山市立博物館
御発駕之節田井瀬御波戸場拵御入用達帳（田井ノ瀬渡し場の修繕）	文化振興課
上使御入之節田井瀬寄人足着到（田井ノ瀬渡し場の修繕）	文化振興課

覚（田井瀬波戸場人足書上）	文化振興課
覚（田井瀬普請入用道具書上）	文化振興課
吉野川・紀ノ川材木筏流し関係帳面（横帳）	和歌山市立博物館
粉河より鮎献上関係史料	個人
御船之私覚記	個人
仕上候一札之事（塩津浦の船、塩飽諸島で座礁に付き）	個人
覚（関戸村の水主が能登で客死に付き）	個人

○夏季特別展

「近代スポーツと国民体育大会 —紀の国わかやま国体・わかやま大会への道—」 〈開催期間〉7月18日(土)～8月23日(日)



〈開催日数〉32日

〈入館者数〉1,223名

〈開催趣旨〉

江戸時代、紀州においては様々な武術流派が存在した。城下町には多くの武術家たちがいたが、明治になると、今まで日本にはなかった新しい文化が導入され、近代的なスポーツが芽生えてくる。やがてオリンピックに日本が参加するようになると、前畑秀子や西田修平ら和歌山人が活躍した。彼らはオリンピックだけでなく、明治神宮競技大会にも出場している。戦争の影響でこの大会は中止となったが、戦後国民スポーツの祭典として昭和21年（1946）、新たに国民体育大会が実施された。その後国体は回を重ね、昭和46年（1971）には和歌山県で「黒潮国

体」が開催された。

本展覧会では、近代スポーツの黎明期から黒潮国体開催までの和歌山におけるスポーツ史の一端を紹介する。また、平成27年（2015）、44年ぶりに2度目の国体「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」が開催されるなか、和歌山市民の気運を高めていきたい。

〈展示構成〉

I 近代スポーツの幕開け

1 嘉納治五郎と近代スポーツ／2 オリンピックと和歌山人

II 国民体育大会

1 明治神宮競技大会から国民体育大会へ／2 黒潮国体の開催

〈特別講演会等〉

① 黒潮国体記念映画「黒潮にきそう—第26回国体の記録」上映会および展示解説

7月25日(土)、8月22日(土) 14時～15時

② 特別講演会「近代スポーツと明治神宮競技大会」8月1日(土) 13時30分～15時

大阪教育大学教授 太田順康氏

③ 特別講演会「近代スポーツと国民体育大会」

8月8日(土) 13時30分～15時

本館総括学芸員 太田宏一

〈展覧会図録〉

展示資料の写真や解説などを掲載したA4版104ページ（オールカラー）の図録『近代スポーツと国民体育大会—紀の国わかやま国体・わかやま大会への道—』（1000円）を発行した。

〈協力者〉（敬称略）

赤坂武彦、天野喜代子、伊東久智、井上裕太、江川哲二、太田一夫、太田順康、奥裕香子、近藤 壮、佐川享平、須藤順子、関口芳夫、籾隆宏、長田和直、兵藤大二郎、平野寿夫、星 佳奈、村瀬輝恭、村田直樹、本橋端奈子、毛利 亨、山本 慎、和関義和、大阪教育大学、株式会社スポーツマックス、公益財団法人講道館、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人

人日本体育協会、梶山歴史文化館、秩父宮記念スポーツ博物館、橋本市郷土資料館、和歌山県、和歌山県立向陽高等学校、和歌山県立文書館、わかやまスポーツ伝承館、早稲田大学大学史資料センター

〈出陳目録〉

I 近代スポーツの幕開け

1 嘉納治五郎と近代スポーツ

紀州の武術

1	和歌山城下絵図（複製）	和歌山市立博物館
2	武術流祖録	和歌山市立博物館
3	三拾三間堂矢数年代記	和歌山市立博物館
4	三十三間堂矢数の図	個人
5	和佐大八郎惣矢数分	和歌山市立博物館
6	塗り弓	和歌山市立博物館
7	田宮家系譜（田宮流居合術）	和歌山県立文書館
8	大嶋流槍術流儀槍	和歌山市立博物館
9	執鎗手段	和歌山市立博物館
10	関口柔心肖像	関口芳夫
11	関口之系図	関口芳夫
12	柔術神書 表	関口芳夫
13	関口流柔術形図巻	関口芳夫
14	袋竹刀	関口芳夫
15	関口流柔形ノ図	関口芳夫
16	関口流指南之巻	関口芳夫
17	岩倉家系譜（岩倉流水芸）	和歌山県立文書館
18	津田流砲術伝書	和歌山市立博物館
19	武衛流大筒射撃図	和歌山市立博物館
20	火縄銃 中筒	和歌山市立博物館
21	赤坂御庭図画帖	和歌山市立博物館

近代文明の開化

1	東京日本橋風景	和歌山市立博物館
2	東京日本橋之景	和歌山市立博物館
3	京橋区銀座通尾張町煉瓦造之真図	和歌山市立博物館
4	東京開化名勝京橋石造銀座通り両側煉瓦石商家繁盛之図	和歌山市立博物館

5	新版車づくし	和歌山市立博物館
6	新版流行車づくし	和歌山市立博物館

嘉納治五郎

1	官許柔術会写真	講道館
2	嘉納治五郎肖像写真	講道館
3	精力善用 自他共栄 写真	講道館
4	永昌寺写真	講道館
5	富士見町道場（後期）稽古図写真	講道館
6	紅白試合風景写真	講道館
7	高等師範学校校長辞令写真	講道館

大日本武徳会

1	大日本武徳会和歌山県支部写真	和歌山市立博物館
2	武徳祭柔術審判員囑託状写真	講道館
3	大日本武徳会商議員囑託状写真	講道館
4	紀州和歌山関口家系譜	関口芳夫
5	柔道の形制定委員写真	講道館
6	親武館写真	関口芳夫
7	修業証書（平泳ヌキ手術終了につき）	和歌山市立博物館
8	修業証書（平泳術終了につき）	和歌山市立博物館
9	遠泳証	和歌山市立博物館
10	習得証（鰐飛）	和歌山市立博物館
11	任命書	和歌山市立博物館
12	賞状（胸泳一等につき）	和歌山市立博物館
13	寒中水泳証	和歌山市立博物館
14	水練絵はがき写真	和歌山市立博物館
15	第2回遊泳大会絵はがき	和歌山市立博物館
16	証書（柔道級4級取得につき）	和歌山市立博物館

2 オリンピックと和歌山人

ストックホルムオリンピック

1	趣意書（日本体育協会の創立）写真	講道館
2	国内予選会風景 写真	秩父宮記念スポーツ博物館
3	国内予選会記録章	秩父宮記念スポーツ博物館
4	国内予選会優秀記録証	秩父宮記念スポーツ博物館
5	国内予選会優勝メダル	秩父宮記念スポーツ博物館
6	大会ポスター（複製）	秩父宮記念スポーツ博物館

7	日本選手団入場行進写真	講道館
8	THE STOCKHOLM OLYMPIAD	日本体育協会
9	大会参加バッジ	秩父宮記念スポーツ博物館

ロサンゼルスオリンピック

1	送別競技会	秩父宮記念スポーツ博物館
2	日本選手歓迎	秩父宮記念スポーツ博物館
3	日本代表一行名簿	日本体育協会
4	大会ポスター（複製）	秩父宮記念スポーツ博物館
5	参加記念メダル	早稲田大学
6	第十回オリンピック大会報告	日本体育協会
7	オリンピックロサンゼルス大会 OLYMPIC GAMES	秩父宮記念スポーツ博物館
8	第10回オリンピックプログラム ATHLETICS SWIMMING	日本体育協会
9	OFFICIAL PROGRAM	梶山女学園
10	オリンピック案内	秩父宮記念スポーツ博物館
11	体操競技ユニフォーム（男性用）	秩父宮記念スポーツ博物館
12	水泳競技水着（男性用）	秩父宮記念スポーツ博物館
13	第十回国際オリンピック大会写真帖	日本体育協会
14	表彰式 写真	梶山女学園
15	銀メダル	早稲田大学
16	日本選手団送別会写真	早稲田大学

ベルリンオリンピック

1	大会ポスター（複製）	秩父宮記念スポーツ博物館
2	参加記念メダル	秩父宮記念スポーツ博物館
3	デレゲーションユニフォーム （女性用）	秩父宮記念スポーツ博物館
4	トーチホルダー	秩父宮記念スポーツ博物館
5	日本代表名簿	日本体育協会
6	伯林大会報告書	日本体育協会
8	オリンピックベルリン大会 Tages-Programm 8.5	秩父宮記念スポーツ博物館
7	友情のメダル	早稲田大学
9	表彰式写真	早稲田大学
10	棒高跳2位勲記	早稲田大学
11	Berliner Illustrierte Zeitung	早稲田大学

12	出発のぼり	橋本市郷土資料館
13	旅行カバン	梶山女学園
16	大日本帝国外国旅券	梶山女学園
20	Tages-Programm 8.8	秩父宮記念スポーツ博物館
21	Tages-Programm 8.9	秩父宮記念スポーツ博物館
19	オリンピックベルリン大会 Tages-Programm 8.11	秩父宮記念スポーツ博物館
18	実況中継レコード・パンフレット	個人
14	金メダル	兵藤大二郎
12	日の丸章	梶山女学園
15	ベルリンオリンピック前畑秀子 200m平泳1位勲記	梶山女学園
17	糸菊	梶山女学園

Ⅱ 国民体育大会

1 明治神宮体育大会から国体へ

明治神宮体育大会

1	ゼッケンナンバー（鳥取）	秩父宮記念スポーツ博物館
2	青年団選士名簿	秩父宮記念スポーツ博物館
3	第7回明治神宮体育大会写真帖	日本体育協会
4	第7回明治神宮体育大会 水上 競技大会	梶山女学園
5	第8回明治神宮体育大会 水上 競技大会	梶山女学園
6	第8回明治神宮体育大会写真帖	日本体育協会
7	第9回明治神宮体育大会報告書 海草中学対熊本工業	日本体育協会
8	嶋清一書状	向陽高校
9	合宿日記	向陽高校
10	栄光（第25回全国中等学校優勝 野球大会写真帖）	向陽高校
11	第25回全国中等学校優勝野球 大会優勝記念写真	向陽高校
12	第10回明治神宮国民体育大会 写真	向陽高校
13	明治神宮絵はがき（第11回明 治神宮国民体育大会）	向陽高校
14	輝く球史	向陽高校

15	嶋清一サイン入り写真	向陽高校
16	嶋清一壮行会写真	向陽高校
17	第11回明治神宮国民体育大会 (柔道部) プログラム写真	講道館
18	第11回明治神宮国民体育大会 プログラム	秩父宮記念スポーツ博物館
19	第12回明治神宮国民体育大会 プログラム	秩父宮記念スポーツ博物館
20	第13回明治神宮国民練成大会 プログラム	秩父宮記念スポーツ博物館
21	第14回明治神宮国民練成大会 プログラム	秩父宮記念スポーツ博物館

和歌山大空襲

1	和歌山市戦災写真	和歌山市立博物館
---	----------	----------

新たなスタート

1	第1回国民体育大会陸上競技之 部番組 (プログラム)	日本体育協会
2	第1回国民体育大会報告書 (合本 製本)	日本体育協会
3	第2回国民体育大会記念写真帖	日本体育協会
4	第1回国民体育大会参加章	秩父宮記念スポーツ博物館
5	第2回～69回国民体育大会参 加章	秩父宮記念スポーツ博物館
6	第1回国民体育大会ポスター	秩父宮記念スポーツ博物館
7	第1回国民体育大会プログラム	秩父宮記念スポーツ博物館
8	第2回国民体育大会開会式 写 真	秩父宮記念スポーツ博物館
9	若い力 (楽譜)	秩父宮記念スポーツ博物館

2 黒潮国体の開催

夏季大会

1	夏季大会ポスター	和歌山県
2	黒潮国体ガイドブック (夏季)	和歌山市立博物館
3	夏季大会開会式写真	和歌山市
4	選手団入場写真	和歌山市
5	選手宣誓写真	和歌山市
6	水泳競技写真	和歌山市
7	漕艇競技写真	和歌山市

8	ヨット競技写真	和歌山市
9	第26回国民体育大会夏季大会 閉会式プログラム	秩父宮記念スポーツ博物館
10	夏季大会閉会式写真	和歌山市

秋季大会準備

1	第26回国民体育大会大会旗・炬 火リレー実施要項	秩父宮記念スポーツ博物館
2	炬火リレーリハーサル写真	和歌山市
3	模擬国体写真	和歌山市
4	清掃写真	和歌山市
5	選手歓迎写真	和歌山市
6	わかやまことば	和歌山市立博物館
7	歓迎前夜祭パンフレット	和歌山市立博物館

秋季大会

1	秋季大会ポスター	和歌山県
2	秋季大会開会式プログラム	和歌山市立博物館
3	開 (閉) 会式会場案内	和歌山市立博物館
4	炬火リレー写真	和歌山市立博物館
5	和歌山県営紀三井寺運動公園陸 上競技場写真	和歌山市立博物館
6	集団演技写真	和歌山市立博物館
7	マスゲーム 楽譜	個人
8	選手団入場写真	和歌山市立博物館
9	大会旗・炬火入場写真	和歌山市立博物館
10	選手宣誓写真	和歌山市
11	国体旗	和歌山県
12	国体記念塔	和歌山県
13	炬火台・トーチ	和歌山県
14	入場券	和歌山市立博物館
15	優待割引券・優待乗車券	和歌山市立博物館
16	市報わかやま	和歌山市立博物館
17	県民の友	和歌山市立博物館
18	輸送路線図	和歌山市立博物館
19	ガイドブック (夏季・秋季)	和歌山市立博物館
20	参加章	和歌山市立博物館
21	和歌山市記念メダル	和歌山市立博物館
22	剣道記念メダル	和歌山市立博物館

23	銀製記念メダル	和歌山市立博物館
24	黒潮国体記念品 バレッシュ	和歌山市立博物館
25	第26回国民体育大会宿泊要項	秩父宮記念スポーツ博物館
26	第26回国体の食事	秩父宮記念スポーツ博物館
27	第26回国民体育大会ポスター ホッケー	秩父宮記念スポーツ博物館
28	第26回国民体育大会ポスター ボクシング	秩父宮記念スポーツ博物館
29	第26回国民体育大会ポスター 蹴球	秩父宮記念スポーツ博物館
30	第26回国民体育大会ポスター レスリング	秩父宮記念スポーツ博物館
31	第26回国民体育大会ポスター バドミントン	秩父宮記念スポーツ博物館
32	第26回国民体育大会ポスター ハンドボール	秩父宮記念スポーツ博物館
33	第26回国民体育大会プログラム 陸上競技	秩父宮記念スポーツ博物館
34	陸上競技 写真	和歌山市
35	第26回国民体育大会ポスター バスケットボール	秩父宮記念スポーツ博物館
36	第26回国民体育大会プログラム バスケットボール競技	秩父宮記念スポーツ博物館
37	バスケットボール競技 写真	和歌山市
38	第26回国民体育大会プログラム 相撲競技	秩父宮記念スポーツ博物館
39	相撲競技 写真	和歌山市
40	第26回国民体育大会プログラム ラグビーフットボール競技	秩父宮記念スポーツ博物館
41	ラグビーフットボール競技写真	和歌山市
42	第26回国民体育大会プログラム 体操競技	秩父宮記念スポーツ博物館
43	体操競技 写真	和歌山市
44	第26回国民体育大会プログラム 自転車競技	秩父宮記念スポーツ博物館
45	自転車競技 写真	和歌山市
46	第26回国民体育大会プログラム 柔道競技	秩父宮記念スポーツ博物館

47	柔道競技 写真	和歌山市
48	第26回国民体育大会プログラム 高等学校野球競技	秩父宮記念スポーツ博物館
49	高等学校野球競技 写真	和歌山市
50	第26回国民体育大会プログラム 馬術競技	秩父宮記念スポーツ博物館
51	馬術競技 写真	和歌山市

冬季大会

1	第26回国民体育大会冬季大会 スキー競技会成績表	秩父宮記念スポーツ博物館
---	-----------------------------	--------------

第7回全国身体障害者スポーツ大会

1	全国身体障害者スポーツ大会開 会式 写真	和歌山市
2	全国身体障害者スポーツ大会パ ンフレット 和歌山市	和歌山市立博物館
3	第7回全国身体障害者スポーツ 大会参加章	
4	第7回全国身体障害者スポーツ大 会ペナント	和歌山市立博物館
5	洋弓競技、槍正確投競技 写真	和歌山市

閉会

1	記念金杯	和歌山県
2	表彰状 優勝	和歌山県
3	表彰状 女子総合2位	和歌山県
4	男女総合優勝カップ 天皇杯	和歌山県
5	閉会式 写真	和歌山市
6	優勝パレード 写真	和歌山市

紀の国わかやま国体・わかやま大会

1	わかやま国体参加章（選手・役員用）	
2	わかやま国体記念章（デモンストレー ションスポーツ参加者・協力者用）	
3	わかやま大会参加章（身体障害者用）	
4	金メダル・銀メダル・銅メダル （わかやま大会選手用）	
5	炬火トーチ	
6	炬火受皿	

○秋季特別展

「表千家と紀州徳川家」

〈開催期間〉10月17日(土)～11月23日(月)



〈開催日数〉32日

〈入館者数〉2,787名

〈協賛〉表千家同門会和歌山県支部

〈開催趣旨〉

御三家のひとつ紀州徳川家は、寛永19年(1642)に表千家4代江岑宗左を茶頭として招いた。以後表千家歴代は、紀州徳川家の茶道を指導し、紀州徳川家歴代藩主も、表千家の茶道を惜しみなく保護し、その発展に寄与した。

特に紀州徳川家10代治宝と表千家との縁は深い。「数寄の殿様」と呼ばれた治宝は、自身の暮らす西浜御殿の庭でしばしば御庭焼を開催し、茶碗をはじめ茶道に用いる陶器などを製作した。

表千家同門会和歌山県支部創立60周年でもあったこの年、表千家歴代と紀州徳川家の交わりを語るとともに、御庭焼をはじめとする紀州の特色あるやきものをご覧いただいた。

〈展示構成〉

一 表千家歴代と紀州徳川家

二 十代治宝と表千家

三 紀州のやきもの

〈特別講演会〉2階講義室

10月30日(土) 13時30分～

「紀州藩の茶道とやきもの」

・「紀州藩御数寄屋頭と表千家茶道」

砂川佳子氏(和歌山県立文書館特別研究員)

・「紀州藩とやきもの」

山下奈津子(当館学芸員)

11月7日(土) 13時30分～

「江戸期における表千家と紀州徳川家」

原田茂弘氏(表千家不審菴文庫主席研究員)

〈茶会〉1階玄関ホール

11月8日(日) 10時/11時/13時/14時

協力 表千家同門会和歌山県支部

和歌山県青年部

〈展示解説〉

10月17日(土)、11月21日(土)

13時30分～14時30分

〈展覧会図録〉

展示資料の写真、解説などを掲載した特別展図録『表千家と紀州徳川家』(A4版、96ページ、1000円)を発行した。

〈協力者〉(五十音順、敬称略)

一般財団法人不審菴、一般社団法人表千家同門会和歌山県支部、表千家北山会館、株式会社総本家駿河屋、公益財団法人野村文華財団野村美術館、公益財団法人楽美術館、和歌山県立博物館、渦岡修平、大西直人、岡本良太、桐山秀穂、小池豊子、柴沼裕子、砂川佳子、千宗左、瀧北敬久、瀧北守男、田中千余子、田中哲夫、谷晃、出和代、出泰之、寺西貞弘、中筋有紀、原田茂弘、前田正明、樂吉左衛門、和中美喜夫

〈出陳目録〉

一 表千家歴代と紀州徳川家

1	玉舟和尚筆 江岑居士道号	表千家不審菴
2	ノンカウ作 御紋茶碗	表千家不審菴
3	江岑筆 大殿様へ御茶差上候節之文	表千家不審菴

4	三木町棚	和歌山市立博物館
5	桑原茶碗	表千家不審菴
6	覚々斎筆 不二画賛	表千家不審菴
7	如心斎筆 「花月」	表千家不審菴
8	啐啄斎作 竹一重切花入 銘「青山」	個人
9	了々斎筆 一位様御成節会記	表千家不審菴
10	了々斎好 打合盆	表千家不審菴
11	吸江斎筆 一行書「花鳥風月」	表千家不審菴
12	吸江斎好 小嶋台茶碗 旦入作	表千家不審菴
13	吸江斎作 茶杓 銘「祝」	和歌山市立博物館
14	吸江斎書状	個人
15	吸江斎作 茶杓 銘「武蔵野」	表千家不審菴
16	住山楊甫作 黒楽茶碗 銘山姥	個人
17	『類集略記』六	和歌山市立博物館
18	『紀州家臣諸越前町家御用諸氏人名録』	和歌山市立博物館
19	金森得水筆 懷紙「春日詠社頭」	和歌山市立博物館
20	金森得水筆 一行書「野水無心自去留」	和歌山市立博物館
21	偕楽園製 ルリ釉耳付花入	表千家不審菴
22	碌々斎好 ふくべ釜 浄寿作	表千家不審菴

二 十代治宝と表千家

23	徳川治宝筆 一行書「青松多寿色」	和歌山市立博物館
24	徳川治宝一行書「出門天地春」	和歌山市立博物館
25	徳川治宝筆 鴛鴦図	和歌山市立博物館
26	徳川治宝筆 朧月竹図	和歌山市立博物館
27	徳川治宝筆 松鶴図	和歌山市立博物館
28	徳川治宝筆 雪中牡丹図	和歌山市立博物館
29	西浜御殿之図	和歌山県立博物館
30	西浜御殿舞楽之図	和歌山市立博物館
31	本居大平筆 西浜御殿藤花	和歌山市立博物館
32	偕楽園焼 赤楽亀ノ絵茶碗 旦入作 徳川治宝画	楽美術館
33	徳川治宝筆御判 竹蓋置	個人
34	千鳥ノ絵香合 徳川治宝画	個人
35	八詠作 蛤香合 銘「紀のくにの」	個人
36	偕楽園焼 瀬戸捻貫写水指 旦入作	楽美術館
37	了入作 青釉金入若松茶碗	野村美術館
38	了入作 分銅菊香合	個人

39	旦入作 赤楽水指	個人
40	吸江斎好 吹上菊香合 保全作	和歌山県立博物館
41	交趾釉月梅図皿 保全作 野呂介石画	和歌山県立博物館
42	偕楽園焼 赤楽加賀光悦写茶碗 弥介作	和歌山市立博物館
43	偕楽園焼 灰釉平茶碗 銘「新樹」	和歌山県立博物館
44	岩瀬広隆筆 伊達千広肖像	和歌山市立博物館
45	伊達千広和歌 幽居五十首之内	和歌山市立博物館
46	偕楽園焼 白釉洲浜香合 森玄蕃作	和歌山県立博物館
47	偕楽園焼 黒楽古形洲浜香合 森玄蕃作	和歌山県立博物館
48	偕楽園焼 赤楽舟引香合 旦入作	和歌山市立博物館
49	偕楽園焼 交趾写二彩紫葉水指	和歌山市立博物館
50	偕楽園焼 交趾写二彩獅子置物	個人
51	偕楽園製 交趾写二彩寿字文花生	和歌山市立博物館
52	偕楽園焼 交趾写黄白釉寿字文花生	和歌山県立博物館
53	偕楽園焼 掛花生「旅枕」	和歌山市立博物館
54	偕楽園製 鴨香合	和歌山市立博物館
55	黒楽茶入 銘「三番叟」	個人
56	偕楽園御庭塗 堆朱中央卓	和歌山県立博物館
57	偕楽園製御庭織 袱紗	和歌山県立博物館
58	置上作白菊蛤香合	和歌山市立博物館
59	朝鮮蛤香合	個人
60	亀玉子香合	個人
61	松木彫鶴香合	個人
62	松香合	個人
63	浄雪作 釜「紫野雪」	和歌山市立博物館
64	利休好 腰黒胴菓鐘 浄益作	和歌山市立博物館
65	徳川治宝筆 玉の絵	表千家不審菴
66	南紀男山焼水指 吸江斎画	表千家不審菴
67	吸江斎好み 玉の絵棗	個人
68	『紀伊国名所図会』	和歌山市立博物館
69	菓子絵手本	和歌山市立博物館
70	菓子木型 布袋糕	和歌山市立博物館
71	菓子木型 雲林糕	和歌山市立博物館
72	菓子木型 蟠桃	和歌山市立博物館

三 紀州のやきもの

73	徳川斉順筆 一行書「忠信」	和歌山市立博物館
74	清寧焼 赤楽結文形香合 銘「玉章」	和歌山県立博物館

75	清寧軒焼 赤楽茶碗 銘「福祿寿」	和歌山県立博物館
76	清寧軒焼 黒楽茶碗 銘「妹嶋夕照」	和歌山県立博物館
77	清寧軒焼 赤楽熨斗絵筒茶碗	和歌山市立博物館
78	清寧軒焼 黒楽茶入 銘「瑞徳」	和歌山県立博物館
79	清寧軒焼 織部写茶碗 銘「秀一」 旦入作	野村美術館
80	清寧軒焼 赤楽茶碗 銘「真鶴」	個人
81	清寧軒焼 織部写輪花菓子鉢	和歌山市立博物館
82	清寧軒焼 赤楽食籠	個人
83	三楽園焼 更紗手兜鉢	和歌山県立博物館
84	水野忠央筆 懷紙「春日詠峯霞」	和歌山市立博物館
85	水野忠央筆 鶴画賛	和歌山市立博物館
86	瑞芝焼 青磁東方朔桃耳花生	和歌山県立博物館
87	瑞芝焼 青磁耳付花生	和歌山市立博物館
88	瑞芝焼 青磁鳳凰文獅子鈕香炉	和歌山県立博物館
89	瑞芝焼 青磁六ツ葵唐草文火鉢	和歌山県立博物館
90	瑞芝焼 三人唐子青磁蓋置	個人
91	瑞芝焼 青磁手焙	和歌山市立博物館
92	甚兵衛焼茶碗	表千家不審菴
93	養翠亭焼 染付六角火入	個人
94	南紀高松焼 染付了々斎好銅広口写 末広水指	個人
95	南紀男山焼 染付二耳花生	和歌山市立博物館
96	南紀男山焼 染付梅竹図寸胴水指	和歌山県立博物館
97	南紀男山焼 色絵花蝶文花生	和歌山県立博物館
98	和歌浦図屏風	和歌山市立博物館
99	和歌浦図屏風	和歌山市立博物館
100	久野丹波守和歌浦莊図巻	和歌山市立博物館
101	吉野和歌浦真景図巻	和歌山市立博物館
102	南紀男山焼 染付玉津春暁図花生	和歌山県立博物館
103	南紀男山焼 染付琴浦戯鶉図大皿	和歌山県立博物館
104	南紀男山焼 染付名草晩潮図大皿	和歌山県立博物館
105	南紀男山焼 染付不老橋絵鉢	和歌山市立博物館
106	偕楽園製 交趾写浅黄釉不老橋図水指	個人
107	青織部杏形茶碗 銘「和歌浦」	和歌山市立博物館
108	南紀男山焼 染付紀三井寺図水指	和歌山市立博物館
109	南紀男山焼 根上松図水指	和歌山市立博物館

○冬季特別陳列

「歴史を語る道具たち」

〈開催期間〉1月13日(水)～2月28日(日)

〈開催日数〉41日

〈入館者数〉3,661名(小学校46校、2,484名)

〈開催趣旨〉

人々は生活をする上で必要な道具をつくり、改良を重ねてきた。現在では科学の技術を駆使してさまざまな道具を機械化したことで、私たちの生活における利便性は飛躍的に向上した。しかし、それらの便利な道具がない時代は、人々はどうのようにして生活していたのだろうか。

本館では開館以来多種多様な生活用具や農具を寄贈いただいている。それらの道具の中には長い歴史がはぐくんだ人間の叡智や努力、工夫の跡が隠されている。これらの資料を活用し、先人たちの生活の様子や知恵を学ぶ機会にするため、本展覧会を開催した。

〈展示構成と主な展示資料〉

1 くらしの道具

たらい、蓄音機、黒電話、洗濯機など

2 遊びと勉強

めんこ(ケン)、お手玉、教科書など

3 あかりの道具

行灯、ランプ、提灯など

4 食事の道具

羽釜、氷冷蔵庫、箱膳、徳利など

5 はかる道具

竿ばかり、看貫ばかり、枴など

6 あたたまる道具

火鉢、湯たんぽ、こたつなど

7 米作りの農具(常設展示)

鍬、田植え定規、千歯こき、唐箕など

総展示点数 約155点

〈ワークシート〉

本展覧会は、小学校3・4年生の社会科「今

にのこる昔とくらしのうつりかわり」(日本文教出版『小学社会』3・4年上)の単位に対応しており、小学校の団体による見学が多い。そのため、展示をより理解してもらうための小学生用のワークシート(オールカラー・全8ページ)を作成し、無料配布した。

○ホール展示

1. 「高野山—1200年の絆—」

〈開催期間〉4月7日(火)～5月17日(日)

〈開催趣旨〉平成27年、高野山は開創1200年を迎えた。弘仁7年(816)空海は嵯峨天皇に高野山の下賜を願い出て、同年7月8日に許された。以来、高野山は真言密教の根本道場としてだけでなく、弘法大師信仰や高野山浄土信仰の霊場として多くの人々に信仰され発展してきた。展示では、当館が所蔵する高野山に関する資料を展示し、高野山の歴史を紹介した。

〈展示点数〉33点

2. 「戦争と和歌山—和歌山大空襲から70年—」

〈開催期間〉7月9日(木)～8月16日(日)

〈開催趣旨〉平成27年8月15日、日本は戦後70年を迎えた。アジア・太平洋戦争では、数多くの尊い命が失われ、和歌山市は昭和20年7月9日深夜から翌日未明にかけてのアメリカ軍による空襲によって市街地の多くが焼土と化し、1100名以上が亡くなった(重傷者1300名以上、軽傷者3000名以上)。今回の展示では、当館が所蔵する戦時下の資料を陳列し、当時の和歌山の様子を紹介した。

〈展示点数〉28点

3. 「紀州の武術」

〈開催期間〉9月26日(土)～10月6日(火)

〈開催趣旨〉紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を記念して開催。徳川御三家の一つである紀州藩では、武術が盛んで、弓術や剣術、槍術、柔術、水芸、砲術など様々な流派や武術家が存在し、和佐大八郎や大嶋吉綱ら全国に知られた武術家も輩出した。今回のホール展示では、紀州で行なわれていた各種武術の一部を様々な史料で紹介した。

〈展示点数〉14点

4. 「平成26年度寄贈資料展」

〈開催期間〉12月1日(火)～20日(日)

〈開催趣旨〉和歌山市立博物館は、昭和60年(1985)の開館以前から市民の方々からたくさんの郷土和歌山の歴史等に関する資料をご寄贈いただいている。これらの資料は、大切に保管し、展示や研究に活用している。昨年度(平成26年度)は、20名の方々から歴史資料15件、美術工芸資料4件、民俗資料6件、その他1件をご寄贈いただいた。

今回のホール展示では、昨年度(平成26年度)に寄贈いただいた資料を展示した。

〈展示点数〉30点

5. 「貴志川線と和歌山—開業100周年—」

〈開催期間〉2月2日(火)～28日(日)

〈開催趣旨〉平成28年2月、貴志川線の前身である山東軽便鉄道が大橋—山東(現伊太祁曾)間で営業を開始してから100年を迎える。貴志川線や沿線に関する資料を展示し、その歴史を紹介した。

〈展示点数〉27点

○コーナー展示

平成20年度から常設展示室の民俗及び近世部門の展示ケースの一部を利用し、コーナー展示を行っている。これは一つのテーマを決めて資料を紹介するミニ展示である。本年度のコー

ナー展示は以下のとおりである。

期 間	テーマ	備 考
3月31日 (火)～ 5月31日 (日)	紀州藩士の くらしと仕事	一人の紀州藩士の仕事と 生活について展示。
	竹林七賢図屏風	平成26年に寄贈された北 村長の同図屏風を展示。
6月2日 (火)～ 8月2日 (日)	戦時下の人々	戦後70年を機に近年収集 した戦時下の資料を展示。
	中筋家のくらし と美	紀州藩の大庄屋・中筋家の 資料を展示。
8月4日 (火)～ 9月27日 (日)	紀州藩御絵師 —紀伊狩野家—	紀州藩に仕えた絵師・紀伊 狩野家の作品を展示。
	安原地区の中 世	中世の安原地区について 書かれた古文書を展示。
9月29日 (火)～ 11月29日 (日)	紀州藩御絵師 —笹川家—	紀州藩に仕えた絵師・笹川 家の作品を展示。
	雑賀の兜	紀州雑賀の甲冑師が製作 した兜を展示。
12月1日 (火)～ 3月27日 (日)	絵画にみる 米づくり	米作りを描いた屏風を展 示。冬季特別陳列に対応。
	南方熊楠と 小笠原誉至夫	南方熊楠の友人で社会主 義運動家であった小笠原 誉至夫にまつわる資料を 展示。

2. 教育普及事業

○史跡散歩

「古写真で歩く和歌山城」

- ・日 時 11月28日(土)
13時30分～16時30分
- ・場 所 和歌山公園
- ・参加者 20名
- ・参加費 一般400円

江戸時代、紀州徳川家の居城である和歌山城は、明治34年に和歌山公園として市民に公開され、同45年には和歌山市に払い下げられた。昭和6年、国の史跡に指定、同10年に天守閣が国宝に指定された。しかし、昭和20年7月9日の和歌山大空襲で天守閣が焼失し、天守閣も含め公園の様相が大きく変貌した。今回は、明治から戦前まで、和歌山城・和歌山公園を撮影した

古写真を通して現地で城の歴史をふりかえった。

○体験学習

1. 「扇子をつくろう」

- ・日 時 8月20日(木)
13時30分～16時
- ・場 所 2階体験学習室
- ・参加者 35名
- ・参加費 300円

扇子とは、自分の手で風を送ったり、儀式や儀礼などに用いたりする道具で、8世紀頃に日本で発明された。折りたたむとコンパクトになり持ち運びにも便利な道具である。今回は扇子の地紙に絵や書をかいて、扇子に貼り付けて仕立てる作業を行い、自分だけのオリジナル扇子を作ってもらった。

2. 「むかしの遊びを体験しよう」

- ・日 時 ①8月29日(土)
②1月16日(土)
③2月27日(土)
いずれも13時30分～16時
- ・場 所 ①②1階玄関ホール
③2階体験学習室
- ・参加者 ①20名
②36名
③20名(いずれも保護者含む)

現代の子どもたちには馴染みの薄い独楽や羽子板、竹馬といった昔のおもちゃを用意し、自由に遊んでもらった。これらのおもちゃで遊ぶことを通じて、むかしの生活や、シンプルに作られたおもちゃの面白さを体験してもらった。

なお本年度は、夏休み期間中と冬季特別陳列期間中の計3回行った。

3. 「蓄音機で音楽を聴こう」

- ・日 時 2月20日(土)

13 時～16 時 30 分

- ・場 所 2 階体験学習室
- ・参加者 33 名
- ・参加費 無料

特別陳列「歴史を語る道具たち」の関連事業として開催した。ゼンマイ式の蓄音機を体験することで、電力を使わずに動くしくみを学んでもらい、同時にデジタルではないアナログの音色を聴いてもらった。

○市博講座

1. 映画「和歌山大空襲」と講演

- ・日 時 7 月 11 日（土）
13 時 30 分～15 時
- ・参加人数 82 名

当館で制作した映画・和歌山大空襲（和歌山炎上）の上映と、「和歌山大空襲体験絵巻」（1946 年 9 月 6 日制作）を紹介し、空襲の悲惨さを伝えた。なお、開催日については和歌山大空襲のあった 7 月 9 日の直近の土曜日とした。

2. 「紀州のお殿様」

開催日	テーマ	参加者
9 月 12 日（土）	徳川頼宣	50 名
9 月 19 日（土）	徳川吉宗	38 名
9 月 26 日（土）	徳川治宝	40 名
10 月 3 日（土）	徳川慶福（家茂）	41 名

江戸時代和歌山を治めた紀州藩主のうち著名な藩主を取り上げた講座。

3. 「戦国時代の雑賀」

開催日	テーマ	参加者
1 月 23 日（土）	戦国時代ころの地形環境	37 名
1 月 30 日（土）	雑賀衆と鉄砲	52 名
2 月 6 日（土）	考古学からみた雑賀惣国	50 名
2 月 13 日（土）	雑賀一揆と雑賀一向一揆	39 名

戦国時代、紀ノ川河口域で活動した新興土豪層

「雑賀衆」を取り上げた講座。

※都合により、当初の予定から一部変更。

○古文書講座 紀州の古文書を読む

- ・日 時 第 1 回 4 月 25 日（土）
第 2 回 5 月 9 日（土）
第 3 回 5 月 23 日（土）
第 4 回 5 月 30 日（土）

13 時 30 分～15 時

- ・参加者 50 名（全 4 回参加）
- ・参加費 100 円（全 4 回）

春季特別陳列「古文書から探れ！地域のみちかな歴史」で展示した古文書を解説した。

○休館日の博物館を探検しよう

- ①日 時 8 月 3 日（月） 13 時～15 時
参加者 3 名
- ②日 時 8 月 24 日（月） 13 時～15 時
参加者 22 名（保護者含む）

平成 25 年度から、夏休み中の休館日を利用して、子ども向けに博物館のバックヤードや展示替えの作業をみていただく行事として開催している。普段はケース越しに見る資料を間近で見られる企画として開催した。

27 年度は開催日の 8 月 3 日が小学校の登校日と重なり、参加者が少なかったため、24 日に再度、バックヤードツアーを開催した。

○校区探検

1. 「鈴木孫一をたずねて」

- ・日 時 10 月 10 日（土）
9 時 30 分～11 時 30 分
- ・参加者 16 名
- ・行程 楠見西小学校～伊久比売神社～蓮乗寺～孫一居址～淡島街道～同小学校

小学校区内の史跡や文化財をめぐる校区探検は毎年おこなっている。楠見西小学校のこどもや父兄とともに小学校区内にある史跡や文化財を探訪し、地域の歴史や文化について理解を深めた。今回は特に雑賀衆の鈴木孫一に焦点をあて、関係寺院等を訪ね歩いた。

2. 「吹上校区探検」

・日 時 10月20日(火)
13時30分～15時30分
・参加者 43名
・行 程 吹上小学校～和歌道～陸奥宗光生
誕地～寺町～報恩寺～徳川家御廟～車坂稲荷
社～白檜屋敷長屋門跡～堀止・新堀川跡・中
橋跡～吹上小学校 ※徒歩距離約3km
吹上小学校で、6年生を対象に授業時間内に実
施した。児童たちの住む身近な地域の歴史・文
化や地域出身の人物について理解を深めてもら
った。

○回想法プログラム

昨年度より、新たな試みとして、冬季特別陳
列「歴史を語る道具たち」の会期中を中心に高
齢者向け「回想法プログラム」を実施した。「回
想法」とは、1960年代にアメリカの精神科医に
よって提唱された非薬物療法の一つで、高齢者
が昔の懐かしい記憶や楽しかった思い出を振り
返ることによって、脳を活性化させる心理・社
会的アプローチである。認知症の予防やその進
行を遅らせたりする効果があることから、全国
的に広まりつつある。そこで昨年に引き続き、
高齢者福祉施設の方を対象に、昔の生活道具に
実際に触れていただくコーナー「回想法ルーム」
を設けた。高齢者の方が、懐かしい生活道具(昭
和30～40年代中心)を見て触れることで、昔の
記憶を呼び起こしてもらい、「回想法」の一助と
して、介護予防に役立てていただくよう、本プ

ログラムを実施した。

〈実施期間〉1～2月

〈利用者数〉

63名(6施設：利用者44名・介護者19名)

○博物館実習

8月18日(火)～22日(土)

大学における博物館学芸員資格取得課程の実習
館として毎年実施している。平成27年度は8
月18日から同22日での5日間実施し、和歌山
大学生4名、近畿大学生1名が参加した。実習
内容は以下のとおりである。

18日(火) 館内施設・特別展案内
郷土玩具資料の整理
19日(水) 武器武具の扱い方
地図資料の整理
20日(木) 美術工芸資料の扱い方
体験学習補助
21日(金) 近世・近代資料の整理Ⅰ
近世・近代資料の整理Ⅱ
22日(土) 中世文書の整理Ⅰ
中世文書の整理Ⅱ
実習レポート作成

【博物館実習受け入れに関する内規】

- 1 本館において博物館実習の受講を希望する
ものは、次のすべてをみたすものに限る。
(1) 受講を希望するものの所属する大学から依
頼のあったものであること。
(2) 和歌山県内出身者または和歌山県内の大学
に在籍する学生であること。
(3) 専攻分野が人文科学系であること。
(4) 実習を受講する前年までに、博物館施行規
則第1条に掲げる博物館概論・博物館経営論・
博物館資料論・博物館情報論に相当する課目を
履修済みであり、かつこれ以外の科目をすべて

当該年に取得できる見込みのあること。

2 実習生の受け入れ定員は 20 名以内とする。

3 館長が特に認めた場合は、この限りではない。

内規 平成 11 年 4 月 1 日

改正 平成 19 年 4 月 1 日

○ミュージアムボランティア

平成 20 年度から和歌山大学教育学部よりミュージアムボランティアを受け入れている。本年度は和歌山大学生 6 名をミュージアムボランティアとして受け入れた。平成 27 年 5 月 20 日から同 28 年 3 月 31 日までの間で、担当学芸員と学生ボランティアが調整をつけ、各種作業等を行う。活動内容は博物館資料の整理や体験学習の補助等である。

○職場体験

平成 23 年度から中学生の職場体験を受け入れている。本年度は西脇中学校 2 年生 3 名（6 月 9 日～11 日・3 日間）、西和中学校 2 年生 3 名（7 月 1 日～3 日・3 日間）、加太中学校 2 年生 3 名（7 月 7 日～9 日・3 日間）、紀之川中学校 2 年生 5 名（9 月 15 日～17 日・3 日間）、東中学校 2 年生 3 名（11 月 10 日～12 日・3 日間）の 5 校 17 名を受け入れた。体験内容は受付業務、資料の整理、資料調査の方法、清掃などである。

○ホームページ

平成 10 年度に本館ホームページを和歌山市 HP 内に開設して以来、コンテンツを改定・補充してきた。その後、平成 16 年 7 月から、館として新たに独自ドメインを取得、オリジナルホームページを作成、運営を行うこととした。平成 22 年度より、ドメイン名の変更とともに、大幅なりリニューアルを行ない、アクセス数も着実に増えている。

また、平成 26 年度から新たな試みとして、和歌山市立博物館公式 Twitter（ツイッター）を開設した。定期的に展覧会や行事の情報を発信しており、フォロワー数も順調に増加している。

和歌山市立博物館ホームページ

（平成 28 年 4 月現在）

<http://www.wakayama-city-museum.jp/>

・和歌山市立博物館公式 Twitter（ツイッター）

（平成 28 年 4 月現在）

https://twitter.com/w_city_hakubuts

3. 調査研究事業

○職員の執筆文献

額田 雅裕

〈論文〉

2015. 9. 25「和歌山城三の丸の位置と環境」（分担執筆）、『和歌山城跡 第 18 次発掘調査報告書』、公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団

〈コラム〉

2015. 4. 8～7. 8「城下町の風景Ⅱ」第 26 回～第 30 回（30 回連載のうち 5 回）、ニュース和歌山

太田 宏一

〈図録〉

2015. 7. 18『近代スポーツと国民体育大会一紀の国わかやま国体・わかやま大会への道』和歌山市立博物館特別展図録

近藤 壮

〈論文〉

2016. 1. 29「和歌浦天満宮所蔵『三十六歌仙扁額』

と狩野光信』、『研究紀要』30号、和歌山市立博物館

〈資料紹介〉

2015.12.10「竹製の千歯抜き」、『民具マンスリー』48巻9号、神奈川大学常民文化研究所

2016.3.31「堀田龍之助編・森閑山筆『水族図譜』(二)」、『和歌山市史研究』44号、和歌山市立博物館

〈コラム〉

2015.8.9「寺中靖直画 京橋米屋町付近（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～12）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.11.15「時空を超える庭園—『赤坂御庭図』をめぐる」、『國華清話会会報誌』26号、國華社

高橋 克伸

〈論文〉

2016.3.25『『青洲記聞』を読む—理安が実見した青洲の治療—』、『平成27年度講演記録集・第6号』、地域おこし歴史懇話会

〈資料紹介〉

2016.1.29「駿河屋伝来・菓子木型資料等の寄贈経緯について(報告)」(共著)、『研究紀要』30号、和歌山市立博物館

山下 奈津子

〈図録〉

2015.10.17『表千家と紀州徳川家』、和歌山市立博物館特別展図録

〈論文〉

2015.9.25「上野七大夫について」、『和歌山城跡第18次発掘調査報告書』、公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団

〈資料紹介〉

2016.1.29「駿河屋伝来・菓子木型資料等の寄贈経緯について(報告)」(共著)、『研究紀要』30号、和歌山市立博物館

2016.3.31「史料翻刻『類集略記』補—上使・御名代・御忌筋・御法事・服御改・殿中(七)(八)」、『和歌山市史研究』44号、和歌山市立博物館

佐藤 顕

〈論文〉

2016.1.29「紀州藩の寺社序列と教団組織—天台宗を事例に一」、『研究紀要』30号、和歌山市立博物館

〈コラム〉

2015.7.15「井田敬之助氏筆 和歌山大空襲体験絵巻（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～1）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.7.17「戦災写真 商工会議所屋上より北東の本町方面を望む（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～2）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.7.19「日記（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～3）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.7.23「血書（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～4）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.7.24「戦時下の写真 慰問袋の発送準備（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～5）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.7.26「軍事郵便（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～6）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.7.29「戦災写真 城北橋から写した本町方面（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～7）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.7.31「八幡三郎氏画 和歌山大空襲後の風景（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～8）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015.8.2「M50 焼夷弾の残骸（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～9）」、『わかやま新

報』、和歌山新報社

2015. 8. 5 「戦災遺品（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～10）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015. 8. 7 「戦後の写真 新町橋付近（和歌山が焼けた日～資料に刻まれた戦争～11）」、『わかやま新報』、和歌山新報社

2015. 9. 19 「江戸時代の高野参詣」、『弘法大師と高野参詣』、和歌山県立博物館特別展図録

小橋 勇介

〈論文〉

2016. 1. 29 「近世後期の和歌山城下町周辺部における新田開発—鼠島の開発—」、『研究紀要』30号、和歌山市立博物館

〈コラム〉

2015. 11. 1 「【会員の声】広報担当者のつぶやき」、『歴史学と博物館』11号、歴史学と博物館のあり方を考える会

○職員の教育普及活動

額田 雅裕

2015. 10. 24 「歴史教室 城下町を歩こう」、吹上地区公民館教室

高橋 克伸

2015. 4. 17 講演「華岡青洲について」、和歌山県立医科大学

2015. 5. 23 「吉宗の地を歩く」、NPO 法人和歌山からJリーグをつくる会

2015. 6. 20 「本町周辺の史跡を歩く」、NPO 法人和歌山からJリーグをつくる会

2015. 7. 25 講演「総本家駿河屋菓子木型保存の経緯(報告)」、紀州の和菓子と文化を考える会・学習会、和歌山市男女共同参画センターりいぶる

2016. 2. 25～27 講演「地域おこし歴史シンポジ

ウム—華岡青洲と千葉理安—」、地域おこし歴史懇話会

山下 奈津子

2015. 7. 25 講演「総本家駿河屋菓子木型にみる和歌山～江戸期の木型を中心に～」、紀州の和菓子と文化を考える会・学習会、和歌山市男女共同参画センターりいぶる

佐藤 顕

2015. 10. 21 講演「紀州徳川家と龍神街道」、平成の龍神街道魅力発見発信事業、和歌山市勤労者総合センター

4. 市史資料管理事業

平成4年度末に事業を完了した和歌山市史編纂事業の残務を引き継いだ事業である。主な業務は、『和歌山市史』残部の販売、他都市交換市史の受入、市史編纂過程で蒐集した資料の保存と整理、保存資料の活用方法の調査研究、『和歌山市史研究』の発行である。

平成27年度も、「類集略記」をはじめ、さまざまな資料の翻刻・紹介を『和歌山市史研究』44号に掲載した。

Ⅱ 収 蔵 資 料 概 要

1. 購入資料概要

本館では計画的に郷土の歴史等に関する資料を購入している。本年度は歴史資料1件、美術工芸資料2件の合計3件の資料を購入した。いずれも展示や研究に活用していく予定である。

●歴史

火縄銃 1挺

●美術工芸

笹川遊泉 和歌浦図巻物 1巻

西本正治氏旧蔵資料 一括(74点)



笹川遊泉 和歌浦図巻物 (部分)

2. 受贈資料概要

本年度は考古資料2件、歴史資料43件、美術工芸資料7件、民俗資料18件を御寄贈いただいた。今後大切に保管し、展示や研究に有効に活用したい。

●考古

滑石製宝塔 3点 大谷 力造

備前焼播鉢 1点 大谷 力造

●歴史

加太軽便鉄道沿線図 1枚 山内 英司

南海電鉄和歌山軌道線写真帳 3冊 中川 聖子

航空兵科士官候補生寄せ書き 1点 木村 雅博

小笠原誓至夫関係資料 14件53点 小笠原謙三

写真帖 従軍 1冊 福田裕美子

軍学・武術関係伝書等 一括 吉備 秀行
石原家文書 一括 谷嶋 宣子
戦争関係写真資料等 一括 井上 清
秦野家所蔵文書 一括

出水智子・大塚由紀子

大正写真工芸所関係資料等

19件38点 森 佑一郎

紀三井山 絵はがき 1組 高野 謙一

地球儀 1基 池田 直弘

●美術工芸

三浦為恭筆 野馬図 1幅 横井美佐子

三浦英太郎筆 四大字 1幅 横井美佐子

桑山玉洲筆 山水閑居図 1幅 横井美佐子

市川徒鳴筆 雛図 1幅 横井美佐子

和歌山市京橋米屋丁附近 寺中靖直画

1点 立石 靖子

錆地塗啄木緘腰取桶側二枚胴具足

1領 谷嶋 宣子

岡本緑邨筆 明光浦十景図

10面 寺井 富士

●民俗

駿河屋看板 1点 本上 桂

駿河屋小松原店看板 1点 本上 桂

駿河屋のれん 2点 本上 桂

和歌祭百面はじめ 4件17点 高垣 薫

三菱扇風機 D30-F 1台 小島 濤子

羅針盤 1点 井田美佐子

一楽寺梵鐘記念筆立 1点 井田美佐子

鯉節削り等 7件9点 森 佑一郎

3. 受贈図書概要

平成27年度に寄贈された図書は以下のとおりである。

紀要 第28号

小樽市総合博物館

「研究報告21号 研究報告第10号 2014年度」『館報Vol.6』

「館報Vol.21」

旭川市博物館・旭川市博物館科学館

北方地域の人と環境の関係史 研究報告

	北海道開拓記念館・北海道開拓の村	佐貫洞穴遺跡 -第2次発掘調査-	栃木県立博物館
紀要 第43号	北海道開拓記念館・北海道開拓の村	第113回企画展「発掘された日本列島2015」地域展示	栃木の考古学を築いた人々
紀要 第27号	根室市歴史と自然の資料館		
夷酋列像	北海道博物館	紀要 第36号	群馬県立歴史博物館
木と生きるーアイヌのくらしと木の造形		観音塚古墳石室開口70周年記念	ポストカードBOOK
	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構		高崎市観音塚考古資料館
公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 助成事業案内		改訂版「観音塚古墳の世界ーきらめく大刀、馬具、装身具ー」	
平成28年度版	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構		高崎市観音塚考古資料館
紀要第29号	小樽市総合博物館	紀要 第11号	入間市博物館
研究紀要 第10号	花巻市博物館	年報 第5号	さいたま市大宮盆栽美術館
研究紀要 16	東北歴史博物館	収蔵資料目録 福田家文書目録	行田市郷土博物館
樹木礼賛 日本絵画に描かれた木と花の美	仙台市博物館	第25回テーマ展 忍の街道をゆくー中山道・館林道・日光脇	
平成26年度年報	東北歴史博物館	往還ー	行田市郷土博物館
調査研究報告 第35号・平成26年度	仙台市博物館	館報 第18号 平成25・26年度	行田市郷土博物館
年報 第42号 平成26年度	仙台市博物館	第29回企画展「相撲ーいにしへの力士の姿」	
美を愉しむこころ 福島美術館ガイドブック	福島美術館		行田市郷土博物館
紀要 第47号	東北学院大学東北文化研究所	平成25年度 館報	市立市川歴史博物館
宇和島伊達家の名宝	仙台市博物館	資料図録11 亀ヶ岡遺跡・是川遺跡	縄文時代遺跡
年報	秋田県立博物館		国立歴史民俗博物館
特別展 国持大名上杉家	米沢市上杉博物館	研究報告 第19号	千葉県立関宿城博物館
年報VOL. 27	米沢市上杉博物館	企画展示 大ニセモノ博覧会 ー贋造と模倣の文化史ー	
米沢藩 医学の系譜～堀内家文書を中心に～			国立歴史民俗博物館
	米沢市上杉博物館	年報・紀要 第7号 2013年度	野田市郷土博物館
研究報告 第8集 団子山古墳2 福島県須賀川市団子山古墳発掘調査報告 原山古墳群1 福島県泉崎村原山古墳群測量調査報告	福島大学行政政策学類考古学研究室	研究紀要 第21号	千葉市立郷土博物館
福島市史資料叢書 第95輯 「福島市誌」II		歴博 特集 光でみる歴史資料	国立歴史民俗博物館
	福島市史編纂委員会	平成26年度特別展「里見氏の遺産」関連事業	館山城下町資料調査報告書
第36回特別展 「次の世を読みとく ー色川三中和幕末の常総」展示図録	土浦市立博物館	平成26年度マリンサイエンスギャラリー「クラゲ展」展示解説書	千葉県立中央博物館分館 海の博物館
年報 第26号 (2012)	土浦市立博物館		千葉県立中央博物館分館 海の博物館
紀要 第24号 2014.3	土浦市立博物館	豊饒の房総	千葉県立中央博物館 (教育委員会)
紀要 第25号 2015.3	土浦市立博物館	研究紀要 第6号 公益財団法人通信文化協会博物館部	
第27号 2015	土浦市立博物館	企画展示 ドイツと日本を結ぶものー日独修好150年の歴史ー	国立歴史民俗博物館
研究紀要第19号	栃木県立文書館	生誕180年 押絵師 勝文斎	野田市郷土博物館
研究紀要-人文- 第32号	栃木県立博物館	大久保利通とその時代	国立歴史民俗博物館
第112回企画展 川のあるくらし ～栃木の漁師の玉手箱～	栃木県立博物館	伝統の古典菊	国立歴史民俗博物館

歴博第 193 号	国立歴史民俗博物館	鉄砲伝来の日本史 火縄銃からライフル銃まで	
歴博第 194 号	国立歴史民俗博物館		宇田川 武久
千葉県の文書館 第二十一号	千葉県文書館	テーマで調べるクローズアップ！日本の歴史 6 参勤交代	
皇室がふれた千葉×千葉がふれた皇室	千葉県文書館		ポプラ社
東金市台方 前嶋家文書目録 5	千葉県文書館	第 34 集 日本塩業の研究	(社)日本塩業研究会
きみつの もののけ みんな えほんその一 『くるみのみ		紀要 第 66 号 (陵墓編)	宮内庁書陵部
んわ んだおろち』(解説つき)		紀要 第 66 号	宮内庁書陵部
	千葉県博図公連携事業実行委員会	時空旅人 ベストシリーズ 高野山 1200 年の史実	
きみつの もののけ みんな えほんその 2 『きつねのだ			(株)プラネットライツ
んご』	千葉県博図公連携事業実行委員会	月刊 歴史街道 平成 27 年 6 月号	(株)PHP 研究所
平成 27 年度特別展 館山藩一稲葉家と藩士たち一		博物館研究 Vol.50 No.5 通巻 563 号	(財)日本博物館協会
	館山市立博物館	内閣制 130 年 戦後 70 年 池上彰が読み解く！戦前ニッポン	
新・地区展 vol.4 「西岬一海の信仰が息づく地一」		総理の決断 1885-1945	株式会社小学館
	館山市立博物館	孤峰一江戸千家の茶道 五月号 (第三十七巻第五号)	
千葉県の妖怪ガイド	千葉県立中央博物館 (教育委員会)		江戸千家
院友学芸員 2015 NO. 8		洋泉社 MOOK 歴史 REAL 徳川歴史大図鑑	
	國學院大學博物館学研究室・法学会		株式会社 洋泉社
近畿の名城を歩く 大阪・兵庫・和歌山編		文化史論集 第八号	三井記念美術館
	仁木 宏 福島 克彦	1707 宝永地震報告書	内閣府 (防災担当)
アンケート調査に基づく歴史系地域博物館展示・設備の実践		年報 第 16 号	伊能忠敬研究会
的研究	吉田 優	史観 第 172 冊	早稲田大学史学会
紀要 第 28 号	府中市郷土の森博物館	史学研究集録 第 40 号	
日本美術年鑑	東京文化財研究所		國學院大學考古学資料館・海洋信仰研究
勝家伝来文書 一旧富岡美術館蔵一			会・國學院大學研究開発機構伝統文化リサーチセンター・学術資料館
	早稲田大学曾津八一記念博物館	MUSEOLOGY No. 34	実践女子大学博物館学課程
生活と文化 研究紀要 第 24 号	豊島区立郷土資料館	博物館研究 Vol.50 No.6 通巻 564 号	(財)日本博物館協会
博物館研究「平成 25 年度博物館館数関連統計」			「國華清話会」会報 第 25 号 平成 27 年春刊
	(財)日本博物館協会		國華社
美學美術史學 第 29 号	実践美学美術史学会	新・日本の歴史 第 4 巻 大名と民衆の一揆 室町・安土桃	
美術研究 第 414 号	東京文化財研究所	山時代	株式会社 小峰書店
美術研究 第 415 号	東京文化財研究所	角川まんが学習シリーズ 日本の歴史 1 日本のはじまり	
城郭史研究 第 34 号	日本城郭史学会	旧石器～縄文・弥生～古墳時代	KADOKAWA
2014 年度年報	明治大学博物館事務室・学芸員課程	孤峰一江戸千家の茶道 6 月号	江戸千家
2014 年度紀要	明治大学博物館事務室・学芸員課程	近畿の名城を歩く 滋賀・京都・奈良編	吉川弘文館
江戸千家の茶道 古峰	江戸千家	大江戸と洛中～アジアのなかの都市景観～	
2014 年研究紀要 第 20 号	出光美術館		東京都江戸東京博物館
緊急警備、辻斬りを阻止せよ！一江戸時代レポート 2		紀要 第 5 号	東京都江戸東京博物館
	浦野 由美子	調査報告書第 29 集江戸の園芸文化	東京都江戸東京博物館
		2014 年 NHK 大河ドラマ 特別展 軍師官兵衛	

	東京都江戸東京博物館	週刊 日本の神社 No. 90	デアゴスティーニ・ジャパン
企画展 徳川将軍の書画	東京都江戸東京博物館	博物館研究 Vol. 50 No. 11 通巻 569 号	(財)日本博物館協会
東京オリンピックと新幹線	東京都江戸東京博物館	史観第 173 冊	早稲田大学史学会
特別展 大関ヶ原展	東京都江戸東京博物館	世田谷の土地 ー絵図と図面を読み解くー	世田谷区立郷土資料館
下布田遺跡 武蔵野の歴史と考古学			世田谷区立郷土資料館
博物館年報 2014 年度	東京都江戸東京博物館	旧太子堂村 森家文書 御用留 二	世田谷区叢書 第九集
			世田谷区立郷土資料館
明治大学学術・社会連携部博物館事務室		歴史人 12 NO. 60	KK ベストセラーズ
書陵部紀要 第 66 号	宮内庁書陵部	孤峰ー江戸千家の茶道 11 月号	江戸千家
博物館研究 Vol. 50 No. 7 通巻 565 号	(財)日本博物館協会	紀要第 30 号	品川区立品川歴史館
研究報告 第 31 輯	國學院大學博物館学研究室・法学会	東海道品川宿	品川区立品川歴史館
遠州 7 平成 27 年	株式会社 大有	歴史人物ベスト 300	宝島社
別冊太陽 日本美術史入門	株式会社平凡社	三井家 伝世の至宝	三井記念美術館
孤峰ー江戸千家の茶道 7 月号	江戸千家	〔別冊〕三井記念美術館開館 10 周年 記念特別展 三井家	
会報 v o l 25	(財)徳川記念財団	伝世の至宝	三井記念美術館
和菓子 第 1～23 号	(株)虎屋 虎屋文庫	博物館研究 12 通巻 570 号	(財)日本博物館協会
博物館研究 Vol. 50 No. 8 通巻 566 号	(財)日本博物館協会	國華 清話会 第 26 号	國華社・國華清話会
人類誌集報 2015-4 遺跡誌情報・民俗誌情報・実験誌情報		古代	早稲田大学考古学会・文学学術院
による人類誌	首都大学東京人類誌調査グループ	孤峰ー江戸千家の茶道 12 月号	江戸千家
企業家倶楽部 2015 年 8 月号	企業家ネットワーク	世界遺産年報 2015 No. 21	(社)日本ユネスコ協会連盟
“復元”名城 完全ガイド	イカロス出版株式会社	所報 第 50 号	東京大学史料編纂所
孤峰ー江戸千家の茶道 八月号 (第三十七卷第八号)		研究紀要 第 25 号	東京大学史料編纂所
	江戸千家	博物館研究 Vol. 51 No. 1 通巻 571 号	(財)日本博物館協会
館報 第 16 号 (平成 26 年度)	昭和館	熊野 海が紡ぐ近代史	株式会社森話社
昭和の暮らし研究 第 13 号	昭和館	孤峰ー江戸千家の茶道 1 月号	江戸千家
超ビジュアル! 日本の歴史大事典	西東社	大坂 豊臣と徳川の時代ー近世都市の考古学ー	高志書院
博物館研究 Vol. 50 No. 9 通巻 567 号	(財)日本博物館協会	入門 親鸞と浄土真宗	株式会社洋泉社
「日本刀～天下名刀の物語～」	株式会社プラネットライツ	博物館研究 Vol. 51 No. 2 通巻 572 号	(財)日本博物館協会
美術研究 第 416 号	東京文化財研究所	美の考古学-古代人は何に魅せられてきたか	佐藤隆信
埴輪を見ると古代日本人が見えてくる	塚田 良道	孤峰ー江戸千家の茶道 2 月号	江戸千家
孤峰ー江戸千家の茶道 九月号 (第三十七卷第九号)		美術研究第 417 号	東京文化財研究所情報部
	江戸千家	日本刀を嗜む	株式会社ナツメ社
特別展 蔵王権現と修験の秘宝	三井記念美術館	博物館実習報告第 31 号	お茶の水女子大学
2015 年 10 月号 第 809 号	日本歴史学会	根津青山の至宝	根津美術館
2015 年 5 月号 第 804 号	日本歴史学会	燕子花と紅白梅 光琳デザインの秘密	根津美術館
博物館研究 10 通巻 568 号	(財)日本博物館協会	扇面歌意画卷	根津美術館
孤峰ー江戸千家の茶道 10 月号	江戸千家	博物館研究 Vol. 51 No. 3 通巻 573 号	(財)日本博物館協会
うっとり・・・レース	東京家政学院生活文化博物館	古代第 138 号	早稲田大学考古学会・文学学術院

孫文を支えた横浜華僑 温炳臣・恵臣兄弟 (株)八坂書房	歩いた・見た・調べた 横浜市歴史博物館民俗に親しむ会 鶴
月刊 歴史街道 平成 28 年 4 月号 株式会社 P H P 研究所	見川流域フィールドワーク調査報告 横浜市歴史博物館
孤峰—江戸千家の茶道 3 月号 江戸千家	文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事
紀要 第 40 輯 國學院大學博物館学研究室	業 平成 26 年度「学校内歴史資料室を活用した博物館デビュ
美學美術史學 第 30 号 実践美学美術史学会	ー支援事業」年報 横浜市歴史博物館
院友学芸員 2016 N o . 9 國學院大學博物館学研究室	特別展 鎌倉震災史—歴史地震と大正関東地震—
空襲被災者運動関係資料目録 1 (財)政治経	鎌倉国宝館
済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室	歴史と民俗 32 神奈川県大学日本常民文化研究所論集 32
特別展『徳川の城～天守と御殿～』 東京都江戸東京博物館	神奈川県大学日本常民文化研究所
日伊国交樹立 150 周年記念 特別展 レオナルド・ダ・ヴィ	古墳ワールド 新潟市歴史博物館
ンチ—天才の挑戦 東京都江戸東京博物館	「田んぼで魚とり」展図録 新潟市歴史博物館
2015 年 NHK 大河ドラマ特別展「花燃ゆ」	研究紀要第 11 号 新潟市歴史博物館
東京都江戸東京博物館	平成 25 年度 館報 富山市郷土博物館(教育委員会)
双六でたどる戦中・戦後 昭和館	特別展 都市” 富山” の 400 年
紀要 第 29 号 府中市郷土の森博物館	富山市郷土博物館(教育委員会)
博物館研究 VOL. 51No.4 通巻 574 号 (財)日本博物館協会	年報—平成 25 年度— 富山県埋蔵文化財センター
研究報告No. 51 小田原市郷土文化館	年報 第 28 号 平成 25 年度 高岡市立博物館
川崎市市民ミュージアム 川崎市市民ミュージアム	佐渡家資料目録 高岡市立博物館
紀要 第 33 号 横浜開港資料館	富山県出土の重要考古資料 9 下老子笹川遺跡出土品集
特別展 歴史コミックと馬 (財)馬の博物館(馬事文化財団)	富山県埋蔵文化財センター
年報 第 38 号 平塚市博物館	向島文庫目録 第 5 集 向島文庫目録 行政資料 雑誌 新聞
研究報告 自然と文化 第 38 号 平塚市博物館	リーフレット・チラシ等 氷見市立博物館
ハマを駆ける—クルマが広げた人の交流 横浜開港資料館	平成 26 年度 年報 —第 33 号— 氷見市立博物館
民具マンスリー 第 48 巻 5～12 号	特別展 とやまの船と船大工 氷見市立博物館
神奈川県大学日本常民文化研究所	年報—平成 26 年版— 富山県埋蔵文化財センター
写真集『鶴見川流域の狛犬百態』 横浜市歴史博物館	特別展「思い出をつむぐ くらしを知る」 氷見市立博物館
鶴見川流域のくらし —生業・水運・信仰—	研究紀要 第 22 号 富山県 立山博物館
横浜市歴史博物館	戦国の強者 津田遠江守重久 富山市郷土博物館
企画展 古代の仏教 —博物館収集資料を中心に—	平成 26 年度館報 富山市郷土博物館
横浜市歴史博物館	城下町金沢論集 城下町金沢の文化遺産郡と文化的景観 第
君も今日から考古学者！ 横浜市歴史博物館	1 分冊 石川県・金沢市
調査研究報告 第 11 号 横浜市歴史博物館	城下町金沢論集 城下町金沢の文化遺産郡と文化的景観 第
紀要 第 19 号 横浜市歴史博物館	2 分冊 石川県・金沢市
資料目録 第 23 集 横浜市歴史博物館	紀要 福井県立歴史博物館(教育委員会)
蒔田の吉良氏 —戦国まぼろしの蒔田城と姫君—	佐柿国古城ブックレット 歴史の町・佐柿の章 第 2 巻 佐
横浜市歴史博物館	柿の寺社と町家～見どころ編 2～ 美浜町教育委員会
大おにぎり展 出土資料からみた穀物の歴史	平成 26 年度生涯学習教室「五感でつかもうお城の魅力」 若
横浜市歴史博物館	狭の要・国古城～国古籠城戦とその後～【講演録】

美浜町教育委員会	研究紀要 38号 2015	名古屋市博物館(教育委員会)
特別展 再会・ふくいゆかりの名宝たちー里帰り文化財展	商家・旧紙屋鈴木家の暮らしと商いの道具	
福井県立歴史博物館		豊田市教育委員会
紀要 2014	年報 平成24年度	豊橋市美術博物館
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	年報 平成25年度	豊橋市美術博物館
ミュージアムスタイルVol.8	研究紀要 第18号	豊橋市美術博物館
福井県立歴史博物館(教育委員会)	豊橋の金工展 出品資料解説目録	豊橋市美術博物館
第33回特別展 縄文の美ー世界に誇る JOMON 芸術ー	収蔵品展 墨のいろ〜モノクロームの世界に遊ぶ〜	
山梨県立考古博物館		豊橋市美術博物館
市誌研究 ながの 第二二号	長野市・長野市公文書館	
年報 2013	松本市立博物館・日本民俗資料館	
松代〈付・年報〉 第28号	長野市教育委員会	豊橋市美術博物館
真田宝物館収蔵品目録 近山家旧蔵 佐久間象山関係資料	細井平洲・美しい心の物語	東海市教育委員会
長野市教育委員会	資料叢書3 猿猴庵の本(第21回配本)	張州勝藍開帳集
収蔵資料目録 民俗2		名古屋市博物館(教育委員会)
長野市立博物館	国史跡指定記念特別展 三河真宗の名刹 本證寺	
紀要 第16号(人文系)		安城市歴史博物館
長野市立博物館	古文書 みりよく発見!	岡崎市美術博物館
平成26年度 企画展 生きること・伝えることー大震災とわたしたちー	研究紀要 第6号	岡崎市美術博物館
長野市立博物館	年報 第24号 平成26年度	安城市歴史博物館
博物館がみつめる松本ー収蔵品からよみがえる記憶	特別展 大地を拓く 都築弥厚の夢	安城市歴史博物館
松本市立博物館	研究紀要 第十八号	豊橋市美術博物館
伊那 2016.3月号	年報 平成26年度	豊橋市美術博物館
伊那史学会	横井庄一生活資料	名古屋市博物館(教育委員会)
研究紀要 第22号	よみがえる輝き 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	
岐阜市歴史博物館		名古屋城
特別展「元屋敷窯発掘史 ー美濃桃山陶の再発見と古窯跡発掘ブームの中でー」	特別展 名古屋めしのもと	名古屋市博物館(教育委員会)
土岐市美濃陶磁歴史館	瀬戸蔵ミュージアム企画展「明治に生まれた美麗なるやきものー石目焼ー」	瀬戸蔵ミュージアム
企画展 塚本司郎の陶芸 ー白磁・彩磁ー	史跡斎宮跡 平成24年度 発掘調査概報	2014年3月
土岐市美濃陶磁歴史館		斎宮歴史博物館
資料集 第1集	史跡斎宮跡 平成24年度 発掘調査概報	2015年3月
土岐市美濃陶磁歴史館		斎宮歴史博物館
特別展 日本遺産認定記念 先人からのギフト	斎宮跡発掘調査報告Ⅱ 柳原区画の調査	遺構・遺構総括編
岐阜市歴史博物館		斎宮歴史博物館
信長史料集 第1集	鳥羽水族館開館60周年記念誌	館長 中野千里
岐阜市歴史博物館	伝えたい、みえ熊野のいま おくまの	2015.6 Vol.6
「復興への道ー占領下の日本」		みえ熊野学研究会
岐阜市歴史博物館	本居宣長の大日本天下四海画圖を解く	本居宣長記念館
古文書(15) 長浜 大川家(大上)(2) 平沢 西島家(2)		
他 文書目録		
沼津市歴史民俗資料館		
紀要 39		
沼津市歴史民俗資料館		
館報 第22号		
久能山東照宮博物館		
館報 第23号		
久能山東照宮博物館		
館報 20ー平成24・25年度ー		
静岡市立登呂博物館		
秋季特別展「木曾川今昔〜川とともに生きる」解説書		
一宮市尾西歴史民俗資料館		

よみがえる斎宮	斎宮歴史博物館	平成 27 年秋季特別展 倭五王海を渡る	
会報第 32 号	鈴屋学会		滋賀県立安土城考古博物館
研究紀要 20	大津市歴史博物館	琵琶湖博物館研究調査報告 第 28 号 東アジアの水環境—	
企画展 戦争と大津-激動の時代と子供たち-		水辺と暮らしの記憶と記録—	滋賀県立琵琶湖博物館
	大津市歴史博物館	人間文化 40 号	滋賀県立大学人間文化学部
開館 20 周年記念企画展 柴田晩葉 -湖都のモダン日本画家-	大津市歴史博物館	旧中島家住宅かまど再生事業報告書	栗東歴史民俗博物館
	大津市歴史博物館	所報	佛教大学・総合研究所
百人一首かるたの世界	大津市歴史博物館	研究紀要 第 24 号	野村美術館学芸部
企画展 湖都大津のこもんじょ学	大津市歴史博物館	紀要 第 22 号	佛教大学・総合研究所
智証大師円珍生誕一二〇〇年記念企画展	大津市歴史博物館	共同研究成果報告論文集 大学と地域の協働による共生のま	
研究紀要 第 31 号	滋賀県立琵琶湖文化館	ちづくり	佛教大学・総合研究所
研究紀要 第 25 号	彦根城博物館	博物館学年報 第 46 号	同志社大学博物館学芸員課程
紀要 第 64 号	滋賀大学教育学部	2013 年度 年報 22	京都工芸繊維大学美術工芸資料館
平成 27 年春季特別展 戦国合戦のかたち -一川中島合戦か		五塚原古墳 第 5 次発掘調査概報 2015	
ら大坂の陣まで—	滋賀県立安土城考古博物館		立命館大学文学部日本史学専攻考古学コース
第 50 回記念企画展・琵琶湖文化館所蔵作品特別陳列 人ノ性、		平成 27 年 春季展 錦絵にみる茶の湯	茶道資料館
酒ヲ嗜ム 神を招き 人を結ぶ	滋賀県立安土城考古博物館	紀要 第 25 号	京都市歴史資料館（京都市）
紀要 第 23 号	滋賀県立安土城考古博物館	八瀬童子-天皇と里人-	京都府京都文化博物館
平成 26 年度 年報	滋賀県立安土城考古博物館	京都老舗の文化史	京都府京都文化博物館
滋賀県指定無形民俗文化財 大津曳山祭総合調査報告書		京を描く-洛中洛外図の時代-	京都府京都文化博物館
	大津市教育委員会	京都府埋蔵文化財調査報告書 （平成 26 年度）	
紀要 第 21 号 2015	栗東歴史民俗博物館		京都府教育委員会
研究年報 第 12 巻第 1 号（通巻第 12 号）		京都府中世城館跡調査報告書 第 4 冊 -山城編 2-	
	環境総合研究センター		京都府教育委員会
忠義の人 遠城謙道	彦根城博物館	京都府中世城館跡調査報告書 別冊 -分布図・索引-	
年報 平成 26 年度	彦根城博物館		京都府教育委員会
一期一会の世界 大名茶人 井伊直弼のすべて		研究紀要 第 47 号	花園大学文学部
	彦根城博物館	平成 26 年度 国宝修理装演師連盟 第 20 回定期研修会	
人間文化 39 号	滋賀県立大学		国宝修理装演師連盟
雨森芳洲と朝鮮通信使 -未来を照らす交流の遺産-		年報 平成 26 年度	京都大学文学部博物館・京都大学
	長浜市長浜城歴史博物館	緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く	
文化財修理報告書 VOL. 13(2015)	楽浪文化財修理所		緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室
歴史学と博物館 第 11 号		茶の湯研究 和比 第 9 号	表千家不審菴文庫
	歴史学と博物館のあり方を考える会	会誌 第 29 号	(財)建築研究協会
大湖北展-伊香・浅井・坂田三郡の風土と遺宝-		京都の史料 10	
	滋賀県立安土城考古博物館		近代自治の源流 京都市歴史資料館（京都市）
よみがえる弥生のムラ 大中湖南遺跡 発掘 50 年		社会科学 第 45 巻 第 1・2 号	
	滋賀県立安土城考古博物館		同志社大学人文科学研究所

宗學院論集 第 86 号 浄土真宗本願寺派宗学院
 京都府埋蔵文化財情報 第 127 号
 (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
 収蔵資料調査報告書 17 京都社寺境内図宇治市歴史資料館
 年報 平成 25 年度 宇治市歴史資料館
 宇治茶—トップブランドの成立と展開—
 宇治市歴史資料館
 第 58 回企画展 ふるさと亀岡の道
 亀岡市文化資料館(教育委員会)
 郷土人形 京都造形芸術大学 芸術館
 南山城の神社と祈り 京都府立山城郷土資料館
 平成 27 年度 海の京都・特別展図録 「大海原に夢を求めて
 —丹後の回船と北前船—」 京都府立丹後郷土資料館
 第 23 回企画展 河陽離宮と水無瀬離宮
 大山崎町歴史資料館
 館報 第 19 号 大山崎町歴史資料館
 社会科学 第 45 巻 第 3 号 人文科学研究所
 乙訓古墳群調査報告書 京都府教育委員会
 朱雀代 27 集 京都府京都文化博物館
 2014(平成 26)年度年報 京都府京都文化博物館
 2015 年特別展 生誕 600 年 蓮如 大谷大学博物館
 キリスト教社会問題研究 第 64 号
 同志社大学人文科学研究所
 花園史学 第 36 号
 花園大学文学部・考古学研究室・史学会
 館報 18 号 同志社大学歴史資料館
 設立 35 周年記念展覧会 「和魂漢才 - 京都・東アジア交流
 の考古学-」展示図録
 京都府埋蔵文化財調査研究センター
 京都府埋蔵文化財情報 第 128 号
 京都府埋蔵文化財調査研究センター
 特別展示図録 乙訓の西国街道と向日町
 向日市文化資料館
 挑戦する大学博物館 京都大学総合博物館
 社会科学 第 45 集 同志社大学人文科学研究所
 紀要第 26 号 京都市歴史資料館(京都市)
 会誌 第 30 号 (財)建築研究協会
 野村美術館研究紀要 第二十五号

公益財団法人 野村文華財団
 浮世絵から写真へ—視覚の文明開化— 株式会社青幻舎
 京都府埋蔵文化財情報 第 129 号
 京都府埋蔵文化財調査研究センター
 立命館平和研究第 17 号 立命館大学国際平和ミュージアム
 高野文化圏研究会報告書(2014 年度) 高野文化圏研究会
 開館一周年記念特別展 都市の交流と文化
 堺市博物館(教育委員会)
 北野地域誌 北野グラフィティ 大阪歴史博物館
 共同研究調査報告書 8 大阪歴史博物館
 共同研究調査報告書 9 大阪歴史博物館
 藤原鎌足と阿武山古墳 高槻市教育委員会
 たかつきの発掘史をたどる 高槻市立今城塚古代歴史館
 大王の儀礼の場—今城塚古墳にみる家・門・堀の埴輪
 高槻市立今城塚古代歴史館
 紀要 第 15 号 大阪市立美術館
 アジア学科年報 第 8 号 (通巻第 29 号)
 追手門学院大学アジア学会
 漢方今昔物語 生薬国産化のキーテクノロジー
 大阪大学総合学術博物館
 適塾関係資料目録 大阪大学適塾記念センター
 タイの古陶磁 堺市博物館(教育委員会)
 影印 河内屋可正旧記一 大阪大谷大学博物館報告書 第
 62 冊 大阪大谷大学・博物館・文化財学科
 古代出雲とヤマト王権 ～神話の国の考古学～
 大阪府立近つ飛鳥博物館
 館報 18 大阪府立近つ飛鳥博物館
 大阪夏の陣 400 年記念特別展 八尾地藏常光寺
 八尾市立歴史民俗資料館(教育委員会)
 平成 27 年(2015 年)度春季特別展
 吹田市立博物館(教育委員会)
 館報 15 吹田市立博物館(教育委員会)
 館蔵資料集 10—建築部材— 大阪歴史博物館
 館蔵資料集 11—初代中村鴈治郎関係資料— 大阪歴史博物館
 研究紀要 第 13 号 大阪歴史博物館
 研究 第 15 号 大阪大谷大学 歴史文化学科
 志学台考古 第 15 号 大阪大谷大学 歴史文化学科
 研究報告 第 33 号 堺市博物館

研究報告 第 34 号	堺市博物館	おもしろいー国絵図と村絵図	
更紗メイド・イン・ジャパンー異国趣味の染色デザインー		吹田市立博物館(教育委員会)	
	堺市博物館	大坂の夏の陣 400 年記念テーマ 大坂城戦史	
かな美の再発見ー近代化のあけぼのの中でー		大坂城天守閣	
	堺市博物館	紀要第 41 号	大坂城天守閣
東南アジアの人形芝居ー舞台の小さな主役たちー		ワカタケル大王の時代～ヤマト王権の成熟と革新～	
	堺市博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館	
堺・泉州の刀剣類ー館蔵の名品からー	堺市博物館	図録 56 海をみつめた縄文人ー放生津潟とヒスイ海岸ー	
ICOCU 異国 南蛮とキリシタンの美術 大阪・南蛮文化館コレクションより	堺市博物館	大阪府立弥生文化博物館	
紀要 第 21 号	関西大学博物館・図書館	「支配と宗教のはざままで」	池田市立歴史民俗資料館
大学の扉を開く	関西大学博物館・図書館	年報	大阪歴史博物館
平成 25 年度 要覧	大阪府立弥生文化博物館	平成 27 年度 特別展 笑いのかたちー絵が笑う絵で笑うー	和泉市久保惣記念美術館
泉南市遺跡群発掘調査報告書 XXXⅡ 泉南市教育委員会		海峡を渡る布	大阪歴史博物館(財)大阪市文化財協会
卑弥呼ー女王創出の現象学ー 大阪府立弥生文化博物館		「唐画もん-武禅に閨苑、若沖も」展図録	
館報(平成 26 年度)・研究紀要第 26 号		大阪歴史博物館(財)大阪市文化財協会	
	八尾市立歴史民俗資料館	関西圏大学ミュージアム連携活性化事業／交流する大学ミュージアムを目指してー大学の扉を開くー実施報告書	
杏雨 第 18 号	(財)武田科学振興財団 杏雨書屋	かんさい・大学ミュージアム連携実施委員会	
アジア観光学年報 第 16 号	国際教養学部アジア学科	歴史発掘おおさか 2015	大阪府立近つ飛鳥博物館
泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報 32		研究年報 第 4 号	(財)阪急文化財団
	泉大津市立織編館(教育委員会)	史泉第 123 号	関西大学史学・地理学会
泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報 34	泉大津市立織編館	テーマ展 神君家康ー「東照宮縁起絵巻」でたどる生涯ー	大坂城天守閣
おほつ研究 9	泉大津市立織編館	律令時代の摂津 嶋上郡	高槻市立今城塚古代歴史館
史泉 第 122 号	関西大学文学部史学	継体大王と筑柴君磐井	高槻市立今城塚古代歴史館
阪南市埋蔵文化財報告 53 阪南市埋蔵文化財発掘調査概要		紀要 第十六号	大阪市立美術館
32	阪南市教育委員会	研究報告第 35 号	堺市博物館(教育委員会)
坂井閑才の「上文」	株式会社聚珍社 上田尚男	アジア観光学年報 第 17 号	追手門学院大学文化部
大学の扉を開く		館報 40	大阪市立自然史博物館
	関西大学博物館・図書館 大阪大谷大学博物館	アジア学科年報 第 9 号	追手門学院大学文化部
東大阪の寺跡と信仰	東大阪市立郷土博物館	赤穂市史史料集 第一集 赤穂藩森家諸役姓名録	
平成 27 年度夏季企画展図録 木簡紀行-安堂遺跡の木簡-		赤穂市史編纂室	
	柏原市立歴史資料館	紀要 文学編 第 165 号 (2014 年度)	甲南大学
亀の瀬の歴史-大和・河内をつなぐ道-		開館 40 周年記念誌	日本玩具博物館
	柏原市立歴史資料館	『日本玩具博物館・企画展の記録Ⅲ』	日本玩具博物館
館報 27	柏原市立歴史資料館	川辺郡猪名川町における多田院御家人に関する調査研究	
柏原市古文書調査報告書第十集 河内国安宿部郡国分村 南		猪名川町教育委員会	
西尾家古文書目録Ⅱ	柏原市立歴史資料館		
市制 75 周年・平成 27 年(2015 年)度秋季特別展 絵図って			

『展示会多田院御家人の家－槻並 田中家－』	大手前大学史学研究所
猪名川町教育委員会	研究報告 第14号 播磨六箇寺の研究Ⅱ 一書写山円教寺の
平成23年度・平成24年度 年報	歴史文化遺産(二) 一 大手前大学史学研究所
姫路市史編集資料目録集 64	摩耶山天上寺 松本奉山 作品集 異色の女流水墨画家
天神遺跡 発掘調査報告書【古墳時代 編】	摩耶山天上寺
淡路市教育委員会・淡路市	脇坂家文書集成 たつの市立龍野歴史文化資料館
城郭研究室年報 姫路市立城郭研究室(教育委員会)	秀吉からのたより一よみがえる龍野神社の宝物一
藝術文化雑誌 紫明/第三十五 號 能楽資料館(紫明の会)	たつの市立龍野歴史文化資料館
藝術文化雑誌 紫明/第三十六號 能楽資料館(紫明の会)	特別展「大上宇市のあしあと一生誕150周年一」
伝説の将軍 ・ 藤原貞国 太子町立歴史資料館	たつの市立埋蔵文化財センター
鉄斎一万巻の書を読み、万里の路を行く一 鉄斎美術館	関西学院史学 第43号 関西学院大学史学会
姫路市史編集資料目録集 65 姫路市教育委員会	城郭研究室年報 VOL.25
富岡鉄斎真蹟集成 一富岡鉄斎鑑定委員会20周年記念一	姫路市立城郭研究室(教育委員会)
富岡鉄斎鑑定委員会	2014(平成26)年度 玄関ホール写真展 「私がとらえた 大
川辺郡猪名川町における多田院御家人に関する調査研究	和の民俗-食-」 2014. 10.25～12.7
兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会	奈良県立民俗博物館
紀要 古文化研究 第14号 (財)黒川古文化研究所	江戸時代を生きる大和武士 葛城市歴史博物館
研究図録シリーズ1 円山応挙の門人たち	弥生池西1号墳 一保存目的の範囲確認調査報告一
(財)黒川古文化研究所	葛城市歴史博物館
特別企画展 阪神・淡路大震災20年 災害と歴史遺産-被災	年報 平成25年度 奈良県立美術館
文化財等レスキュー活動の20年一 兵庫県域関係展展示分図	紀要 第29号 奈良県立美術館
録 兵庫県立歴史博物館	桜井市立埋蔵文化財センター展示解説書 発掘調査速報展
紀要 塵界 第26号 兵庫県立歴史博物館	21 50cm下の桜井
20年の記録 姫路市書写の里・美術工芸館	公益財団法人桜井市文化財協会(教育委員会)
西宮歴史調査団年報 2013年版 西宮市立郷土資料館	平成27年度春季企画展「たわらもと2015 発掘速報展」展示
戦後70年 福岡と戦争の記憶	図録 Vol.18 唐古・鍵考古学ミュージアム
福岡市立神崎郡歴史民俗資料館	特別展図録第83冊 平成27年度春季特別展 継体大王とヤ
史料集11 幕末風聞録 一旧小坂田村の「諸事覚日記」	マト 県立橿原考古学研究所附属博物館
伊丹市立博物館	平成27年度春季特別展 開館40周年記念 はじまりの御仏
地域研究いたみ 第44号 伊丹市立博物館	たち 奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
研究紀要第31号 神戸市立博物館	研究紀要 纏向学研究 第3号 桜井市纏向学研究センター
館蔵品目録 考古・歴史部 31 神戸市立博物館	桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書 第44集 奈良県桜井市
収蔵資料目録 第七集 西宮市立郷土資料館	纏向遺跡発掘調査書3一第35次・63次・72次調査一
京都画壇・鈴木派の隆盛 赤穂市立美術工芸館 田淵記念館	桜井市纏向学研究センター
紀要 第10号 大手前大学史学研究所	年報 第2号(平成25年度) 桜井市纏向学研究センター
研究報告 第16号 宇治炭山窯調査報告書	田原本町文化財調査年報23 2013年度
大手前大学史学研究所	田原本町教育委員会
研究報告 第15号 達身寺仏像群調査報告書	紀要 2015 奈良国立文化財研究所 本館

大和を掘る 33 —2014 年度発掘調査速報展—

県立橿原考古学研究所附属博物館

概要 2015

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
奈良大学邦人創立 90 周年・文化財学科創設 35 周年記念 企
画展 発掘された古代国家 奈良大学博物館
平成 27 年度特別展「纏向」その後

公益財団法人桜井市文化財協会(教育委員会)
キトラ古墳と天の化学 奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
開館 120 周年記念特別展 白鳳—花ひらく仏教美術—
奈良国立博物館

特別展 まぼろしの久能寺経に出会う 平安古経展
奈良国立博物館

特別陳列 名匠三代—木内喜八・半古・省古の木工芸—
奈良国立博物館
研究紀要 鹿園雑集 第 15 号・第 16 号 奈良国立博物館
開館 120 年記念 写真でたどる奈良国立博物館のあゆみ
奈良国立博物館

人のかたちの埴輪はなぜ創られたのか

県立橿原考古学研究所附属博物館
平成 27 年度 秋季企画展「弥生遺産Ⅲ～唐古・鍵遺跡の石器
～」 展示図録 Vol.19 唐古・鍵考古学ミュージアム
館報 第 28 号 天理大学附属天理参考館
古代都城出土の植物種実 国立文化財機構奈良文化財研究所
桑山一族 紀州和歌山城から大和新城へ 葛城市歴史博物館
平成 27 年度冬期企画展 飛鳥の考古学 2015-飛鳥の古墳調査
最前線— 奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
「古代忍海の渡来人を探る」 葛城市歴史博物館
かづらき 9 紀要 葛城市歴史博物館
かづらき 10 紀要 葛城市歴史博物館
資料目録 第 4 集 葛城市歴史博物館
構内遺跡 発掘調査概報Ⅷ 奈良女子大学
構内遺跡出土遺物にみる 肥前陶磁の世界 奈良女子大学
奈良の中世を考える(1)—平安・鎌倉— 奈良女子大学
報告 第 2 集-和歌山市水軒地区の研究-
和歌山地理学研究会
あゆみ 平成 26 年度 和歌山市特別支援教育研究会
紀要 第 55 号 和歌山信愛女子短期大学

年報 第 40 号 平成 24 年度 研究紀要 第 2 号

和歌山県立紀伊風土記の丘

発掘調査報告書 第 4 集 太田・黒田遺跡 第 75 次発掘調査
報告書 (財)和歌山市文化スポーツ振興財団
古文書徹底解釈 紀州の歴史 第 2 集 和歌山県立文書館
紀要第 17 号 和歌山県立文書館
平成 26 年度紀の川流域の文化遺産を活かした地域活性化事
業 調査研究報告書 和歌山県(教育委員会)
ニュース和歌山が伝えた半世紀 ニュース和歌山株式会社
平成 26 年度 有田川町埋蔵文化財調査年報

有田川町教育委員会

きのくに文化財 第 48 号 (社)和歌山県文化財研究会
館報 平成 25 年度 32 号 和歌山県立博物館
世界遺産・高野山の歴史 —弘法大使と密教の聖地—
和歌山県立博物館
和歌山城郭研究 第 14 号 和歌山城郭調査研究会
紀の川市内遺跡発掘調査概要報告書 —平成 25 年度—
紀の川市教育委員会(生涯学習課)

和歌山城郭研究 第 11 号 和歌山城郭調査研究会
熊楠研究 第 9 号 南方熊楠顕彰館
あかね 御坊文化財研究会
和歌山地方史研究 68 和歌山地方史研究会
『笈の小文』の旅路・経路の再検討 —吉野・葛城・高野・
和歌浦— 橋本市郷土資料館
平成 26 年度 国指定史跡 高野山町石改修事業報告書

九度山町教育委員会

平成 26 年度 高野参詣道—黒河道— 調査・整備 報告書
九度山町教育委員会
生誕 100 周年記念 前畑秀子関係資料総合目録
橋本まちかど博物館

高野山開創 1200 年記念展 初公開! 高野山の御神宝
高野山霊宝館
寺中靖直画集 寺中美術館
寺中靖直画集 第 2 集 寺中美術館
年報 2014 和歌山県文化財センター
立野遺跡 —すさみ町公共施設移転事業に伴う発掘調査報告
書— 和歌山県文化財センター
出塔の水道 —山田川砂防工事に伴う発掘調査報告書—

和歌山県文化財センター
神前遺跡 ー秋月海南線道路改良に伴う発掘調査報告書ー

和歌山県文化財センター
立野遺跡 ー近畿自動車道紀勢線事業に伴う発掘調査報告書ー

和歌山県文化財センター
井辺遺跡、神前遺跡 ー都市計画道路松島本渡線（神前南）
道路改良工事に伴う発掘調査報告書ー

和歌山県文化財センター
和歌山城跡 ー和歌山地家簡裁庁舎建設に伴う発掘調査報告
書ー

和歌山県文化財センター
和田遺跡 ー秋月海南線道路改良工事に伴う発掘調査報告書ー

和歌山県文化財センター
目座遺跡、八丁田圃遺跡、塗屋城跡、大古Ⅱ遺跡、稻成Ⅰ遺
跡、安宅本城跡、田ノ口遺跡、岩崎大泓遺跡、岩崎大泓Ⅱ遺
跡 ー近畿自動車道紀勢本線事業に伴う発掘調査報告書ー

和歌山県文化財センター
特別展 高野山開創と丹生都比売神社-大師と聖地を結ぶ
神々-

和歌山県立博物館
研究紀要 第21号
和歌山県立博物館
地宝のひびきー和歌山県内文化財調査報告会ー 資料集

和歌山県文化財センター
留学生等地域交流事業「和歌山の世界遺産を学ぶ」実施報告
書

NPO法人WIN
コンコード 国立大学法人和歌山大学国際教育研究センター
年報 第11号

国立大学法人和歌山大学国際教育研究センター
和歌山県埋蔵文化財調査年報 ー平成25年度ー

和歌山県教育委員会
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」関連文化財指定促進事
業報告書

和歌山県教育委員会
高野山開創1200年記念 特別展 ありだのみ仏たちー有田
市指定文化財からー 有田市郷土資料館（教育委員会）
和歌山城跡 第18次発掘調査報告書

（財）和歌山市文化スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター
鳴神Ⅱ遺跡 第5次発掘調査報告書

（財）和歌山市文化スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター
歴史の道 高野参詣道三谷坂整備報告書

かつらぎ町教育委員会

かつらぎ町埋蔵文化財調査年報 かつらぎ町教育委員会
和歌山県立紀伊風土記の丘 秋期特別展「紀伊の地、大いに
震う ～考古学から南紀地震を追う～」

和歌山県立紀伊風土記の丘
一般社団法人 紀要 第6号 （社）和歌山人権研究所
熊野（改題くちくまの） 第148号 紀南文化財研究会
和歌山地方史研究 69 和歌山地方史研究
熊野誌 第62号 船上光次

会報55号 紀南・地名と風土研究会
年報 平成26年度〈第7号〉 田辺市立美術館
市制施行60周年記念 有間と宮子～御坊・日高に眠る古代史
開眼～ 御坊市教育委員会 生涯学習課
市制施行60周年記念 御坊の文化財

御坊市教育委員会 生涯学習課
紀要 第36号 和歌山大学紀州経済史文化史研究所
南海ホークスとあこのころの和歌山

和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2015年度特別展「南海鉄道旅客案内」図録

和歌山大学紀州経済史文化史研究所
紀中・紀南の旗頭 湯川氏の城・館・城下町

和歌山県文化財センター
弘法大師と高野参詣 和歌山県立博物館
鯨とりー太地の古式捕鯨ー 和歌山県立博物

和歌山地方史研究 70 和歌山地方史研究会
和歌山市100年 和歌山市

和歌山（県）師範学校水泳部史 和歌山真砂水泳協会
西脇小学校百周年記念誌 西脇 100年の歩み

和歌山市立西脇小学校創立100周年記念実行委員会
楠見中学校開校記念誌 昭和58年3月刊 楠見中学校
和歌山市郷土資料館建設調査委員他都市調査報告書

和歌山市教育委員会
和歌山聯隊区指令部 和歌山地区司令部 回顧録 われん会
ー安原ー 創立百周年記念誌

創立百周年記念誌事業実行委員会
大新小学校創立百二十周年記念誌『大新小学校』

和歌山市大新小学校
御祭神及由緒沿革 矢宮神社 矢宮神社
和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報ー平成25年度(2013年度)

—

(財)和歌山市文化スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター
熊野(改題くちくまの)第149号 紀南文化財研究会
平成27年度 有田川町埋蔵文化財調査年報
有田川町教育委員会
和歌山・南大阪地域に根差した大学博物館における展示を用
いた活性化および教育事業実施報告書
和歌山大学紀州経済史文化史研究所
学芸員が作った津山城の本 津山郷土博物館(教育委員会)
研究報告 第30号 倉敷市立自然史博物館
館報 第24号(平成26年度) 倉敷市立自然史博物館
年報 平成26年度 津山郷土博物館(教育委員会)
平成27年度特別展 佐平焼 津山郷土博物館(教育委員会)
生活文化研究所年報第28輯
ノートルダム清心女子大学 生活文化研究所
生誕140周年 上島鳳山と大阪の画家たち
笠岡市立竹喬美術館
研究報告 第36号 岡山県立博物館
岡山びと The”okayamabito”-紀要-第9号
岡山シティミュージアム
和風 第128~132号 上田流和風堂
発掘調査報告書 第1集 塔之原遺跡 一広島市安芸区上瀬
野町所在一 (財)広島市文化財団 文化科学部 文化財課
広島城跡広島ビジネスタワー地点
公益財団法人広島市文化財団文化科学部文化財課
海洋堂フィギュア展一たのしい“おまけ”の世界一
広島県立歴史民俗資料館
尾道・浄土寺の寺宝展 広島県立歴史博物館
報告 第50号 秋吉台科学博物館
2014年度「阿波木偶箱まわし」伝承推進事業報告書一さらな
る伝承に向けて一
「阿波木偶箱廻し」調査・伝承推進実行委員会
よみがえる縄文世界 一鳥居龍蔵の信州調査一
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
瓦から見る古代の阿波-寺院と役所
徳島県立博物館(教育委員会)
研究報告 第2号 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
研究報告 徳島県立博物館(教育委員会)

みんなで作るユニバーサルミュージアム 報告書

徳島県立博物館
研究報告 第5号(平成26年度)
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
年報 第24号(平成26年度) 徳島県立博物館
中国国分/四国国分 一秀吉の天下取りと智将・蜂須賀正勝一
徳島市立徳島城博物館
年報 第23号(平成26年度) 徳島市立徳島城博物館
阿波木偶箱まわしの世界-門付け、大道芸-
徳島県立博物館(教育委員会)
高松藩主松平家墓所調査報告書 香川県立ミュージアム
ミュージアム調査研究報告書 第6号 香川県立ミュージアム
年報 第7号(平成26年度) 香川県立ミュージアム
収蔵資料目録7 香川県立ミュージアム
松山市文化財調査報告書 第179集 久米高畑遺跡 22次・
41次調査 国庫補助市内遺跡発掘調査報告書
松山市教育委員会
平成26年度特別展図録 弘法大師空海展
愛媛県歴史文化博物館
研究紀要 第20号 愛媛県歴史文化博物館
平成26年度特別展図録 続・上黒岩岩陰遺跡一縄文時代早期
の世界一とその時代 愛媛県歴史文化博物館
平成26年テーマ展図録 「松山城下図屏風の世界」
愛媛県歴史文化博物館
資料項目録第23集 吉田初三郎関係資料目録
愛媛県歴史文化博物館
来住町遺跡5次・7次・9次調査 国庫補助市内遺跡発掘調査
報告書 松山市教育委員会
法文学部論集 人文科編 第37・38号
愛媛大学文学部・人文学会・法文学部
松山市文化財調査報告書 第175集 久米才歩行遺跡一7次
調査一 (財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター
松山市文化財調査報告書 第177集 本谷遺跡 高田遺跡
(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター
松山市文化財調査年報 26 松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第175集 星岡遺跡 1次・3次調
査 松山市教育委員会
法文学部論集 人文学科編 第39・40号

愛媛大学文学部法文学部
松山市文化財調査報告書 第182集 久米高畑遺跡 58次・60次・61次調査 国庫補助市内遺跡発掘調査報告書
松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第183集 衣山北組遺跡 谷町遺跡2次調査 松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第184集 樽味立添遺跡2次調査 樽味立添遺跡5次調査 樽味四反地遺跡範囲確認調査
松山市教育委員会
年報 平成25年度 No.23 高知県立歴史民俗資料館
研究紀要 第19号 高知県立歴史民俗資料館
長宗我部遺臣それぞれの選択 高知県立歴史民俗資料館
紀要No.23 高知市立自由民権記念館
法隆寺展 ―聖徳太子と平和への祈り― 福岡市美術館
永岡地区遺跡確認調査 筑紫野市文化財調査報告書 第108集 筑紫野市教育委員会
柳川文化資料集成第2集-5 安東省行菴集 書簡編
柳川市史編集委員会
柳川文化資料集成第4集 柳川の歴史的建造物
柳川市史編集委員会
年報 平成26年度 柳川古文書館
淡輪家史料目録 2015 柳川古文書館
研究報告 B類 歴史 第12号
北九州市立自然史・歴史博物館
年報 平成25年度 北九州市立自然史・歴史博物館
年報15 筑紫野市歴史博物館
売茶翁を「もっと知ろう」-そして郷里佐賀に返そう-
田中新一
大宰府条坊跡第245次 筑紫野市文化財調査報告書 第109集 筑紫野市教育委員会
大宰府条坊跡第295次発掘調査 筑紫野市文化財調査報告書 第110集 筑紫野市教育委員会
福岡県中近世城館遺跡等詳細分布調査報告書2 福岡県の中近世城館跡Ⅱ-筑前地域編2- 福岡県教育委員会
九州歴史資料館 研究論集 40 福岡県教育委員会
博多座 文楽公演 (株)博多座
鳴滝紀要 第25号 シーボルト記念館
館報 No.27 2014年度報告 熊本市立熊本博物館

平成26年度特別展(第33回)変幻自在を極める 縄文と弥生のかごと木工芸 大分市歴史資料館(教育委員会)
報告書第16集 豊後國山香郷の調査 資料編3 大分県立歴史博物館
大分県仏教美術調査報告Ⅰ 大分県立歴史博物館
大分県県歴史資料調査報告2 大分県立歴史博物館
年報 2014 大分県立歴史博物館
研究紀要 16 大分県立歴史博物館
都城島津家史料集 第4号 都城島津家役所日記 4 都城島津邸
研究紀要 第35輯 宮崎県総合博物館
年報 宮崎県総合博物館
沖縄県医師会報 沖縄医師会広報委員会
泗川 SACHEON 国立晋州博物館
Koreana 夏号2015 韓国国際交流財団
Koreana 秋号2015 韓国国際交流財団
NAMMYEONG JO SIK & NAEAM JEONG INHONG 国立晋州博物館
Koreana 冬号2015 韓国国際交流財団
Bonner Zeitschrift für Japanologie Band9 CARL KÖPPEN UND SEIN WIRKEN ALS MILITÄRINSTRUKTEUR FÜR DAS FÜRSTENTUM KII-WAKAYAMA(1869-1872) Margaret Mehl
韓国近代絵画の先駆者たち 韓国国際交流財団

4. 資料の貸出

本年度の資料の館外貸出(展覧会への出陳等)は、8件51点であった。貸出先、展覧会名称、会期、貸出資料等は以下の通りである。

●行田市郷土博物館

企画展「力士―いにしへの力士の姿」展

(平成27年9月14日～12月11日)

・男子立像(力士像)埴輪(複製品) 1点

●和歌山県立博物館

企画展「わかやま城探検」

(平成27年7月18日～9月6日)

・江戸幕府上使和歌山城登城指図写 1帖

- ・御用留 1 冊
- ・和歌山城絵図（当館寄託） 1 舗
- ・御天守起し御絵図（当館寄託） 1 舗
- ・御天守御絵図（当館寄託） 3 枚

●和歌山県立博物館

特別展「弘法大師と高野参詣」

（平成 27 年 9 月 19 日～11 月 1 日）

- ・豆腐屋仲間定書（当館寄託） 1 冊
- ・伊都郡西郷村絵図（当館寄託） 1 舗

●橿原市博物館

企画展「顔、カオ、かおー顔面表現の考古学」

（平成 27 年 10 月 10 日～11 月 29 日）

- ・鳴神貝塚復顔資料 1 点

●葛城市歴史博物館

特別展「桑山一族紀州和歌山城から大和新城へ」

（平成 27 年 10 月 17 日～11 月 29 日）

- ・和歌山城下町絵図（複製） 1 幅
- ・和歌山御城内惣御絵図（複製） 1 幅

●和歌山城歴史資料館

人物展示「わかやま人物探訪」

（平成 27 年 9 月 2 日～平成 28 年 3 月 31 日）

- ・陸奥宗光七絶書「過薩洋」はじめ 32 点

●和歌山大学紀州経済史文化史研究所

特別展「南海ホークスとあこのころの和歌山」展

（平成 27 年 11 月 4 日～11 月 27 日）

- ・卓袱台 1 台
- ・タバコ盆 1 台
- ・炊飯器 1 台
- ・電話 1 台
- ・ラジオ 1 台
- ・冷蔵庫 1 台
- ・テレビ 1 台

●和歌山県立博物館

企画展「紀州を旅する」

（平成 28 年 1 月 23 日～3 月 6 日）

- ・滑稽秋の空 1 冊

5. 映像資料概要

本館の常設展示室には、原始・古代・中世・近世・近代の各コーナーに 5 台のビデオ放映器（VTD）と、民俗コーナーに 1 台のビデオプロジェクターを設置している。

VTD は、シリコンディスク使用のパソコンとタッチパネル式の 19 インチモニターを採用し、モニター画面を手で触れることで映像を選択できるようになっている。

ビデオプロジェクターもシリコンディスク仕様のパソコンと 100 インチの平面スクリーンを設置し、照光式のボタン式スイッチで映像を選択できるようになっている。

映像については、それぞれ 3 分前後の内容を数本収録し、視覚的な紹介をしている。

- ・常設展示室各コーナー収録番組

原始：弥生時代の太田・黒田遺跡

太田・黒田の銅鐸

大谷古墳の発掘

古代：奈良時代のくらしー木簡はかたるー

古代和歌山の仏教

万葉集ー笠朝臣金村の長歌ー

大同寺の蔵骨器

中世：梶田（笠田）荘の荘園絵図

中世の遺跡をたずねて

津田監物と鉄砲

雑賀鉢の謎

絵画に見る太田城水責め

近世：あるくみる城下町

和歌山城の門

八代将軍徳川吉宗ーその武と雅ー

城下町和歌山の文化
 紀州藩と茶道
 紀州の黒船ディアナ号
 近代：昭和初年への旅立ち
 ーその頃の和歌山はー
 戦争で子どもたちまで勤労働員
 和歌山大空襲
 和歌山城の再建
 民俗：雛流し 淡島神社
 和歌祭 紀州東照宮
 茅の輪祭 伊太祁曾神社
 団七踊 岡崎団七踊保存会
 木ノ本の獅子舞 木本八幡宮

コーナー展示

- ・3月29日～6月5日
「なつかしの市電」 「仁井田好古」
- ・6月7日～8月7日
「紀州の弓術」 「近世の世界地図」
- ・8月9日～10月2日
「小倉神社」 「太田黒田遺跡」
- ・10月4日～12月4日
「川合小梅をめぐる人々」「城下町の本屋さん」
- ・12月6日～3月26日
「絵画にみる米づくり」「吉田初三郎―大正広重―」

特別展

27年度と同じく夏と秋の2回、特別展を行う。
 夏季特別展は、「玉津島―衣通姫と三十六歌仙―」をテーマに7月16日から8月21日まで開催する。玉津島神社は、衣通姫を祭神とし「和歌の神様」として知られ、和歌に関する優れた文化財を今日に伝えている。平成27年度、狩野興甫画の三十六歌仙額が和歌山市指定文化財になったのをはじめ、28年度、玉津島神社奉納和歌と玉津島神社文書も同指定文化財になる。これを記念して、玉津島神社の和歌や信仰に関する資料を一堂に展示する。

秋季特別展は、「城下町和歌山の絵師たち」と題して、10月22日から11月27日まで開催する。江戸時代の城下町和歌山では、文化が花開き、様々な絵師が活躍した。展覧会では、紀伊狩野家や笹川家などの紀州藩のお抱え絵師、祇園南海・桑山玉洲・野呂介石といった紀州三大文人画家をはじめ、これまであまり知られなかった絵師の作品についても紹介し、城下町和歌山の歴史と文化を振り返る。

特別陳列

収蔵資料を中心として、春と冬の2回、特別陳列を開催する。

Ⅲ平成28年度の展望

1. 平成28年度事業予定概要

平成26年度に和歌山市立博物館基本的運営方針を策定し、27年4月からホームページにおいて公開している。

27年度からは、この基本的運営方針に従って博物館を運営し、点検し、評価を受け、開かれた博物館をめざして活動している。

常設展

常設展は、開館以来、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマに和歌山市域を対象とした通史的な展示を行っている。常設展示室にはコーナー展示といって、2か月ごとに大幅な展示替えをする展示ケースを2か所に設けている。それぞれ年5回、下記のとおり展示替えを行う。

そのほか、玄関ホールでは7月9日～8月21日に「戦時下の和歌山」、12月6日～25日に「新収蔵資料」など、その時々タイムリーなホール展示を開催し、収蔵資料を公開する機会を増やす。

春季特別陳列は、「徳川吉宗と紀州の明君」をテーマに、4月16日から5月29日まで開催する。今年は、吉宗が江戸幕府の8代将軍に就任してから300年にあたり、それを記念して展覧会を開催する。展覧会では、館蔵資料を中心として、吉宗だけでなく、明君といわれた初代藩主の頼宣と九代藩主の治貞に関する資料も合わせて展示し、吉宗らを輩出した紀州藩の歴史の一端を紹介する。

冬季特別陳列「歴史を語る道具たち」は、1月11日から2月26日まで開催する。この展覧会は、市民から寄贈された生活道具や農機具等の民具を展示し、昔のくらしの実態を示すとともに、それらの民具を通じて、人びとの生活の知恵と工夫を理解してもらうものである。本展は、学校教育との連携で、小学校3年生の社会科の授業に関連させた企画で、毎年この時期に開催している。

古文書講座

古文書講座「かな入門―物語を読む―」を5月21日、5月28日、6月4日、6月11日の4回開催する。当館所蔵の紀州藩家老の旅行記をテキストとして、かな文字のくずし字で書かれた古文書に親しんでもらう。

市博講座

教育普及事業として、今年は市博講座を3回、土曜日に開催する。

夏は記録映画会として、映画「和歌山大空襲」を上映し、ホール展示と常設展で展示している空襲関係の資料を解説する。

秋は「古写真でみる和歌山」と題して、当館に収蔵している古写真を使って、9月3日に「本町・市駅」、9月10日に「和歌浦」、9月17日に「市電」、9月24日に「加太・東和歌山・紀三井寺」の4回を行う。

冬は「友ヶ島」を統一テーマにして、次の4回

開催する。

- ・1月21日 「友ヶ島の遺跡」
- ・1月28日 「友ヶ島と修験」
- ・2月4日 「江戸時代の海防」
- ・2月11日 「友ヶ島をめぐる美術」

体験学習

教育普及事業の一環として、伝統的なくらしなどを体験してもらうために、本年度は次の6回の体験学習を開催する。

- ・8月8日 休館日の博物館を探検しよう
- ・8月25日 布わらじをつくろう
- ・8月27日 むかしの遊びを体験しよう
- ・1月14日 むかしの遊びを体験しよう
- ・2月18日 蓄音機で音楽を聴こう
- ・2月25日 むかしの遊びを体験しよう

史跡散歩

史跡散歩は市内の史跡や文化財に親しんでもらうため、毎年秋に開催している。今年は10月8日に「古写真で、ぶらり歩こう本町界限」と題してまち歩きを行う。和歌山城や城下町関係の史跡散歩は好評で、数年に一度、計画している。

校区探検

当館では、公立学校の週5日制の導入に対応して、市内小学校及び校区子どもセンターと協力し、校区内の歴史的スポットを見学する校区探検を開催している。本年度は、秋に城北小学校区で開催する。

調査研究

本年度は、特別展「玉津島一衣通姫と三十六歌仙―」及び「城下町和歌山の絵師たち」に関する調査研究を中心に行い、その成果はそれぞれの展示図録に反映させる。

また、特別展の年次計画に基づいて、平成29

年度の夏季特別展「駿河屋(仮題)」、秋季特別展「幕末の紀州藩(仮題)」の調査を進めていく。それ以降の年度に開催する予定の特別展についても基礎調査を開始する。

そのほか、館蔵資料及び関連資料の調査研究を進め、その成果を『研究紀要』に掲載する。

資料収集

展示資料購入費によって、計画的に資料の購入を行っている。本年度は、狩野安信筆「大黒天図」など美術資料のほか、郷土資料の購入を予定している。また、収蔵資料の充実を図るために、資料の寄贈・寄託を積極的にすすめていく。

資料の保存環境を維持するため、当館では毎年、燻蒸（消毒）を実施している。本年度は、2階一般収蔵庫及び特別展示室の燻蒸を、6月20日～27日に実施する。

市史関係資料の管理

保管している市史関係資料の整理を進め、資料的価値が高い文書史料の翻刻を行い、『和歌山市史研究』45号に掲載する。

博物館実習

各大学から依頼をうけて、毎年、博物館実習生を受け入れている。本年度は、8月23日から27日までの5日間、博物館実習を行う。なお、受け入れに関する要項は、前掲「博物館実習生受け入れに関する内規」のとおりである。

2. 平成28年度博物館当初予算

歳入

(単位 千円)

目	本年度	前年度	比較	節	
				区 分	金 額
教育使用料	1,120	1,120	0	博物館使用料	1,000
基金収入	3	3	0	博物館振興基金収入	3
雑入	1,982	2,282	△300	博物館図録等販売収入	1,982

歳出

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳				節	
				特定財源			一般財源	区 分	金 額
				国県 支出金	地方債	その他			
11 博物館費	108,565	124,518	△15,953			3,105	105,460	1 報 酬	140
								2 給 料	28,243
								3 職員手当等	18,817
								4 共 済 費	9,777
								8 報 償 費	569
								9 旅 費	1,053
								11 需 用 費	16,217
								12 役 務 費	2,011
								13 委 託 料	28,963
								使用料及び 賃 借 料	359
								18 備品購入費	2,342
								負担金、補 助及び交付 金	51
								19 積 立 金	3
								25 公 課 費	14

IV 資料

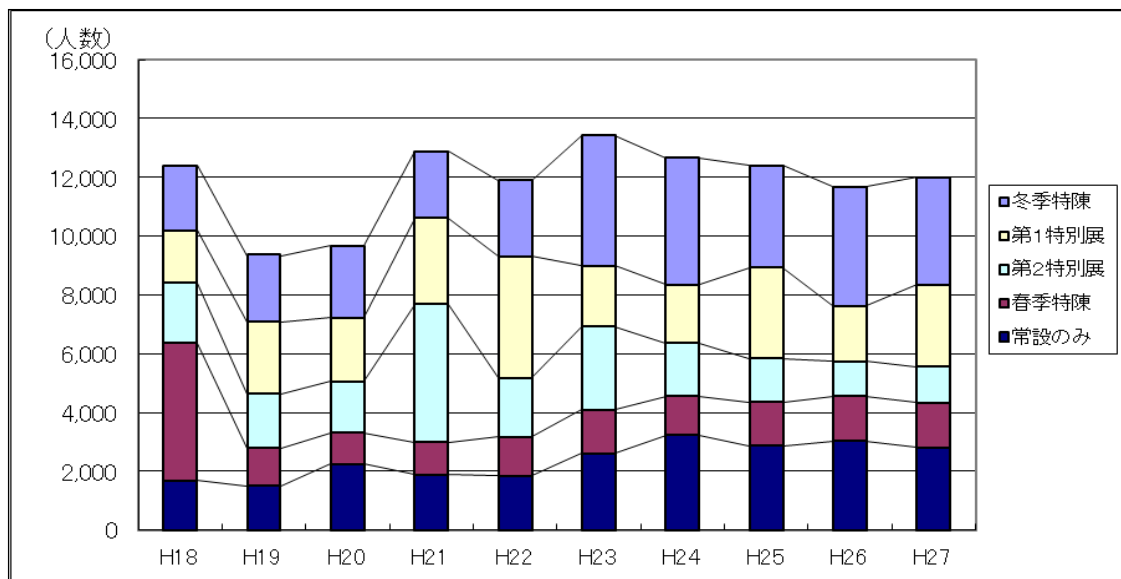
○入館者の動向

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	開館 日数	個 人			団 体			無 料 入 館 者 (含団体)	合 計	1日 平均	備 考
		一般/大	小中高	小計	一般/大	小中高	小計				
平成27年 4月 25	25	250	0	250	0	0	0	231	481	19.2	特別陳列
5月 27	27	274	0	274	0	0	0	869	1,143	42.3	4/18～5/31
6月 19	19	109	0	109	47	0	47	101	257	13.5	
7月 27	27	199	25	224	0	0	0	418	642	23.8	特別展
8月 26	26	268	90	358	0	0	0	589	947	36.4	7/18～8/23
9月 26	26	192	0	192	2	0	2	226	420	16.2	
10月 27	27	286	32	318	33	0	33	870	1,221	45.2	特別展
11月 24	24	376	18	394	459	0	459	1,542	2,395	99.8	10/17～11/23
12月 23	23	184	0	184	0	0	0	145	329	14.3	
平成28年 1月 24	24	202	0	202	20	0	20	1,528	1,750	72.9	特別陳列
2月 24	24	318	0	318	0	0	0	1,703	2,021	84.2	1/13～2/28
3月 27	27	193	0	193	0	0	0	203	396	14.7	
合計	299	2,851	165	3,016	561	0	561	8,425	12,002	40.1	

○過去 10 年間の入館者数の推移

	常設のみ	春季特陳	第2特別展(夏)	第1特別展(秋)	冬季特陳	総入館者数
平成18		古写真	桑山玉洲	近世和歌山の科学者たち	歴史を語る道具たち	
	1,672	4,691	2,050	1,761	2,213	12,387
平成19		土の中からの贈り物、(併設)戦争中の暮らしと子どもたち	歴史のなかの鉄炮伝来	南海の鎮・和歌山城	歴史を語る道具たち	
	1,513	1,294	1,848	2,434	2,268	9,357
平成20		近世書画の美	南紀男山焼	岩瀬広隆	歴史を語る道具たち	
	2,242	1,063	1,752	2,152	2,449	9,658
平成21		発掘土器ドキ！昔の和歌山	写真に見る戦後の和歌山	南方熊楠の世界	歴史を語る道具たち	
	1,865	1,121	4,696	2,928	2,251	12,861
平成22		紀州藩の士族たち	よみがえる和歌山の縄文世界	紀州徳川家のお姫様	歴史を語る道具たち	
	1,831	1,335	2,001	4,131	2,590	11,888
平成23		心の旅・全国の郷土玩具展	川端龍子と和歌山	祇園南海とその時代	歴史を語る道具たち	
	2,589	1,499	2,837	2,067	4,427	13,419
平成24		新収蔵庫展 博物館のたからもの	華岡青洲の医塾 春林軒と合水堂	ヘンリー杉本とその時代	歴史を語る道具たち	
	3,226	1,319	1,805	1,998	4,301	12,649
平成25		博物館へ花見に行こう	海人の世界	市電が走っていた街	歴史を語る道具たち	
	2,851	1,496	1,474	3,093	3,487	12,401
平成26		わかやま歴史再発見	荘園の景観と絵図	江戸時代を観光しよう	歴史を語る道具たち	
	3,025	1,525	1,175	1,881	4,062	11,668
平成27		古文書から探れ！	近代スポーツと国民体育大会	表千家と紀州徳川家	歴史を語る道具たち	
	2,806	1,525	1,223	2,787	3,661	12,002

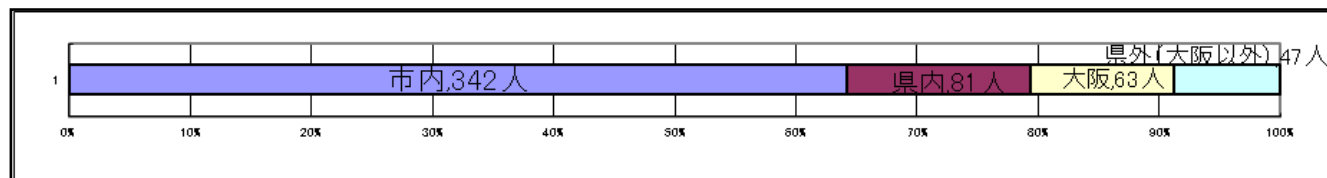


○アンケートの集計

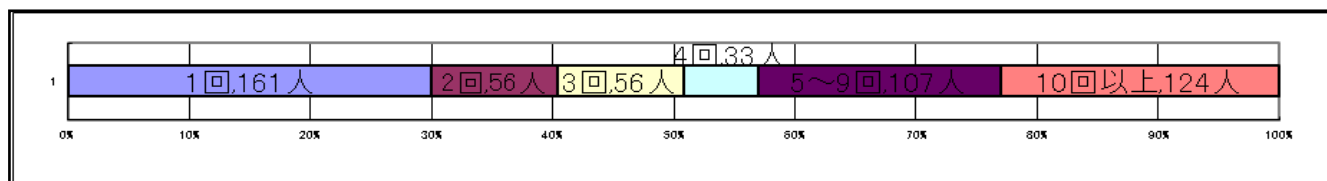
平成 27 年度の 2 回の特別展開催時に回収されたアンケートの集計結果を提示する。

期間中の総入館者は 4,010 名、アンケート数は 540 通（回収率：13.5%）。

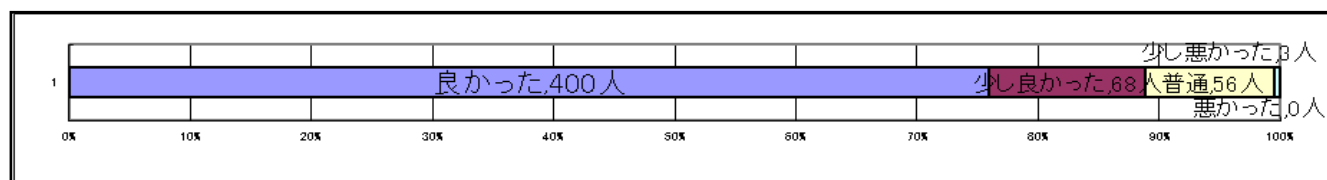
1. どちらから来られましたか？



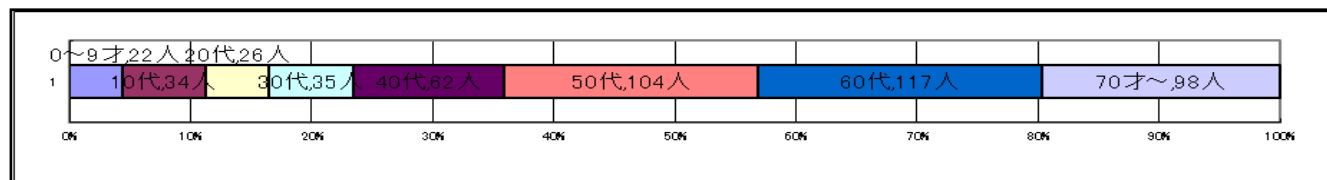
2. 来館は何回目ですか？



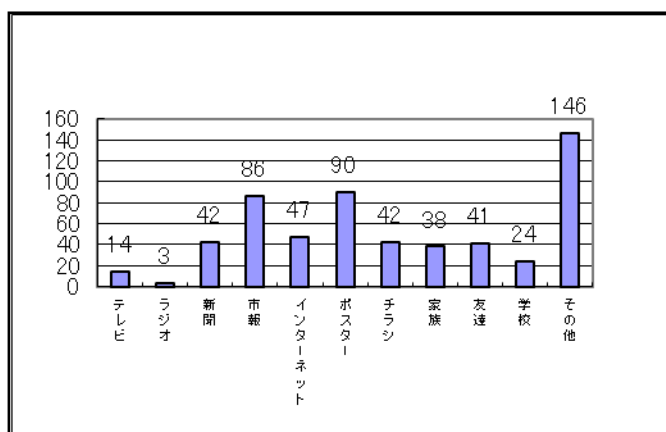
3. 展示はいかがでしたか？



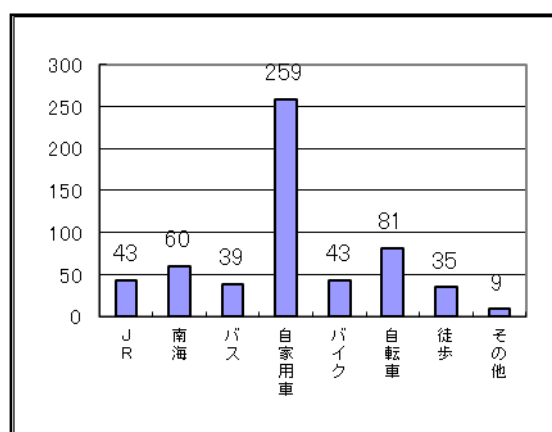
4. 年齢は？



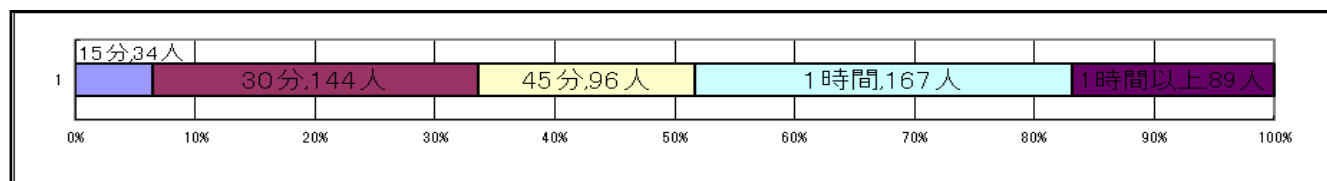
5. どのようにお知らせになりましたか？



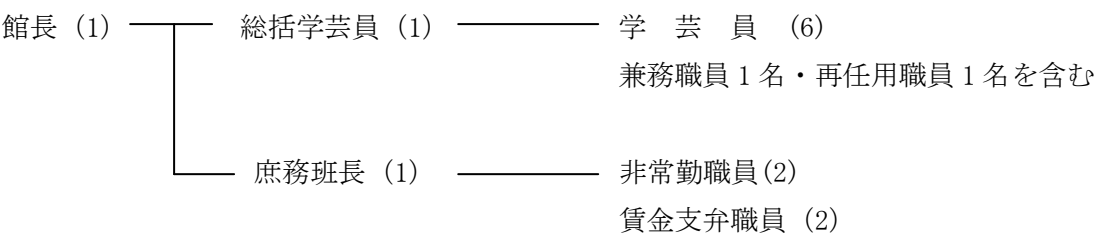
6. 利用された交通機関は？



7. 利用時間は？



○館機構（平成 28 年 4 月 1 日現在）



○博物館職員（平成 28 年 4 月 1 日現在）

館長	額田 雅裕		
総括学芸員	太田 宏一	庶務班長	北口 繁人
学芸員	益田 雅司（兼務）	非常勤職員	宇治田良一（平成 28. 4. 1 着任）
学芸員	近藤 壮	非常勤職員	岩尾 光葉
学芸員	高橋 克伸	非常勤職員	西山 瞳（平成 28. 3. 31 退任）
学芸員	山下 奈津子	非常勤職員	高田 麻由美
学芸員	佐藤 顕	賃金支弁職員	植田 美帆（平成 27. 10. 1 着任）
学芸員	小橋 勇介	賃金支弁職員	西浴 智美（平成 28. 4. 1 着任）
		賃金支弁職員	西尾 夏美（平成 28. 3. 31 退任）
		賃金支弁職員	岡 喬平（平成 27. 9. 30 退任）

○博物館協議会委員名簿（平成 28 年 4 月 1 日現在）

◎印 会長 ○印 副会長

	氏 名	役 職	備 考
学校教育関係	中村 典弘	和歌山市立小学校長会会長	H26・12・18 再任
	藤本 禎男	和歌山市立中学校長会会長	H26・12・18 再任
社会教育関係	楠山 繁	和歌山文化協会 会長	H26・12・18 再任
	南 正晃	和歌山陸上競技協会 専務理事	H26・12・18 再任
家庭教育関係	堰本 信子	和歌山市婦人団体連絡協議会 会長	H26・12・18 再任
学識経験者	上村 雅洋	和歌山大学経済学部教授	H26・12・18 再任
	眞貝 昌洋	日本放送協会和歌山放送局局長	H26・12・18 再任
	島津 俊之	和歌山大学教育学部教授	H26・12・18 再任
	高橋 隆博	関西大学名誉教授	H26・12・18 再任
	○ 千森 督子	和歌山信愛女子短期大学教授	H26・12・18 再任
	西本 昌弘	関西大学文学部教授	H26・12・18 再任
	◎ 藤本 清二郎	和歌山大学名誉教授	H26・12・18 再任
	尾崎 方哉	和歌山市議会議長	H26・12・18 再任

○和歌山市立博物館条例

昭和60年7月18日

条例第17号

改正 平成元年12月21日条例第66号

改正 平成9年3月27日条例第18号

改正 平成12年3月27日条例第24号

改正 平成19年3月22日条例第13号

改正 平成20年12月24日条例第68号

改正 平成23年12月19日条例第40号

改正 平成24年3月23日条例第23号

改正 平成26年3月24日条例第48号

改正 平成27年3月19日条例第31号

(設置)

第1条 本市は、郷土の歴史、文化遺産等に関する市民の理解と認識を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）

第18条の規定に基づき、博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
和歌山市立博物館	和歌山市湊本町3丁目2番地

(事業)

第3条 博物館は、法第3条第1項に定める事業その他必要な事業を行う。

(入館料)

第4条 常設展の入館料の額は、100円（20人以上の団体にあつては、1人につき80円）とする。

2 特別展の入館料の額は、2,000円とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、減額することができる。

3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる者の入館（常設展に係るものに限る。）は、無料とする。

(1) 学校（学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校（大学及び高等専門学校（第4学年及び第5学年に限る。）を除く。）をいう。第4号において同じ。）に在学する学生、生徒、児童又は幼児（同号において「学生等」という。）

(2) 認定こども園（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。第4号において「認定こども園法」という。）第2条第6項に規定する認定こども園をいう。第5号において同じ。）の園児（以下この項において単に「園児」という。）

(3) 小学校就学前の者（第1号に規定する幼児及び園児を除く。）

(4) 学生等又は園児を教育課程に基づく教育活動又は保育に係る活動において引率する当該学生等が在学する学校又は当該園児が在籍する幼保連携型認定こども園（認定こども園法第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。次号において同じ。）の教員（学校教育法第7条（認定こども園法第26条において準用する場合を含む。）に規定する教員をいう。）

(5) 保育所に入所している児童又は園児を保育に係る活動において引率する当該児童が入所している保育所の保育士又は当該園児が在籍する認定こども園（幼保連携型認定こども園を除く。）の保育に従事する職員

4 入館料は、前納しなければならない。

(入館料の減免)

第5条 市長は、特別の理由があると認めるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

(資料の特別使用)

第6条 博物館資料について、刊行物に掲載し、又は展示することを目的として、撮影し、若しくは複写し、又は博物館資料に係る写真原板等の貸与若しくは画像等の提供を受けること（以下「特別使用」という。）をしようとする者は、あらかじめ教育委員会に申請し、その許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしない。

(1) 博物館資料の保全上支障があるとき。

(2) 博物館の管理上支障があるとき。

(3) 特別使用に係る博物館資料が寄託されたものである場合に、前項の規定による申請を

する者（次号において「申請者」という。）が当該博物館資料を寄託した者の同意を得ていないとき。

(4) 特別使用に係る博物館資料に著作権者がある場合に、申請者が当該著作権者の同意を得ていないとき。

(5) その他教育委員会が不相当と認めるとき。

3 教育委員会は、第 1 項の許可に必要な条件を付することができる。

4 第 1 項の許可を受けた者（次条において「特別使用者」という。）は、別表に定める額の使用料（以下「特別使用料」という。）を前納しなければならない。

5 市長は、学術研究その他の公益性の高い目的を達成するために特別使用をする必要があると認めるときは、特別使用料を免除することができる。

（特別使用の許可の取消し等）

第 7 条 教育委員会は、特別使用者が前条第 3 項の規定により許可に付された条件に違反したときは、当該許可を取り消し、又は特別使用を制限し、若しくは停止させることができる。

（入館料等の不還付）

第 8 条 既納の入館料及び特別使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館等の制限）

第 9 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物又は動物を携帯する者

(3) 建物又は附属設備若しくは備品（以下「建物等」という。）を損傷し、又は滅失するおそれがある者

(4) 次条の規定に違反した者

（行為の禁止）

第 10 条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 火災、爆発その他危険を生ずるおそれがある行為をすること。

(2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為をすること。

(3) 建物等を損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれがある行為をすること。

(4) 所定の場所以外の場所で飲食し、又は喫煙すること。

(5) その他管理上支障がある行為をすること。

（損害の賠償）

第 11 条 何人も、建物等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会の設置）

第 12 条 法第 20 条第 1 項の規定に基づき、和歌山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（委員の任命の基準）

第 13 条 協議会の委員の任命は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちからこれを行うものとする。

（委員の定数）

第 14 条 委員の定数は、15 人以内とする。

（委員の任期）

第 15 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第 16 条 協議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

（会議）

第 17 条 協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 協議会は、必要に応じて開催するものとする。

3 会長は、協議会を招集しようとするときは、あらかじめ会議の日時、場所及び付議すべき

事項を示して委員に通知しなければならない。
ただし、急施を要する場合は、この限りでない。

- 4 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 5 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 18 条 協議会の庶務は、生涯学習部において処理する。

(規則への委任)

第 19 条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表（第 6 条関係）
特別使用料

区分	単位	使用料
博物館資料の撮影又は複写（博物館資料の貸与を伴うものを含む。）	1点1回	2,050円
博物館資料に係る写真原板の貸与	1枚1回	2,050円
博物館資料に係る画像情報を収録した光ディスク等の貸与	1画像1回	2,050円
博物館資料に係る写真の提供	1点1回	2,050円
博物館資料に係る画像情報の電磁的方法による提供	1画像1回	2,050円

備考 複数の物で構成されるものであっても、博物館資料を分類する上で1点として取り扱うものは、1点とする。

○和歌山市立博物館条例

昭和 60 年 11 月 1 日

教委規則第 3 号

改正 平成元年 12 月 21 日条例第 66 号

改正 昭和 61 年 10 月 6 日教委規則第 4 号

改正 昭和 62 年 3 月 31 日教委規則第 22 号

改正 平成 3 年 3 月 30 日教委規則第 15 号

改正 平成 4 年 3 月 2 日教委規則第 3 号

改正 平成 4 年 4 月 8 日教委規則第 7 号

改正 平成 5 年 3 月 29 日教委規則第 2 号

改正 平成 8 年 3 月 22 日教委規則第 11 号

改正 平成 12 年 3 月 31 日教委規則第 28 号

改正 平成 19 年 3 月 15 日教委規則第 4 号

改正 平成 21 年 3 月 19 日教委規則第 5 号

改正 平成 24 年 2 月 15 日教委規則第 3 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、和歌山市立博物館条例（昭和 60 年条例第 17 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間等)

第 2 条 博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、入館は、午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会が必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 博物館の休館日は、次のとおりとする。
ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

(3) 12 月 28 日から翌年 1 月 4 日まで

(入館料の納付)

第 4 条 条例第 4 条の規定により、入館料を納めた者は、入館券（第 1 号様式）の交付を受けなければならない。

(特別展の入館料)

第5条 条例第4条第2項ただし書の規定により減額する場合における特別展の入館料の額は、特別展に要する費用の額その他の事情を考慮してその都度教育委員会が定める。

(入館料の減免)

第5条の2 条例第5条に規定する特別の理由があるときは、次の各号に掲げる場合とし、同条の規定により減額する入館料の額又は免除は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。次条第2項において同じ。）の交付を受けている者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びそれらの者の介護人が介護のために入館するとき 免除
- (2) 本市が発行する老人優待利用券の交付を受けている者が入館するとき 免除
- (3) その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき 教育委員会が必要と認める額

(入館料の減免申請)

第6条 条例第5条の規定による入館料の減額又は免除を受けようとする者は、入館料減額、免除申請書（第2号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定は、前条第1号又は第2号に該当する者については、適用しない。この場合において、同条第1号又は第2号に該当する者は、入館の際に同条第1号又は第2号に規定する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は老人優待利用券を提示しなければならない。

(入館料の還付)

第7条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条ただし書の規定により入館料を還付するものとする。

- (1) 天災地変その他入館しようとする者の責めに帰することのできない特別な理由により入館できないとき。
- (2) その他特別な理由があると認めたとき。

(入館者の遵守事項)

第8条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示している博物館資料（館長が特に指定したものを除く。）に触れないこと。
- (2) 許可を受けずに展示している博物館資料の模造、模写又は撮影をしないこと。
- (3) 展示室でインク、墨汁等を使用しないこと。
- (4) その他係員の指示に従うこと。

(資料)

第9条 収集した資料は、資料番号を付番し、博物館資料として整理するものとする。

(資料の貸出し)

第10条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱上の安全性が確保されると認められるとき、又は特別使用のために必要と認められるときは、この限りでない。

- 2 前項ただし書の規定により博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出許可申請書（第3号様式）を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、館外貸出しに係る博物館資料が寄託されたものであるときは、博物館資料貸出許可申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の規定により博物館資料の館外貸出しを許可したときは、当該申請者に、博物館資料貸出許可書（第4号様式）を交付する。

(特別使用許可の申請及び許可)

第11条 条例第6条第1項の規定により特別使用

の許可を受けようとする者は、博物館資料特別使用許可申請書（第 5 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、特別使用の許可をしたときは、博物館資料特別使用許可書（第 6 号様式）を当該申請者に交付する。

（特別使用料の納付）

- 第 12 条 特別使用者は、博物館資料特別使用許可書の交付を受ける際に特別使用料を納付しなければならない。

（特別使用料の免除申請）

- 第 13 条 条例第 6 条第 5 項の規定により特別使用料の免除を受けようとする者は、第 11 条第 1 項に規定する申請の際に、博物館資料特別使用料免除申請書（第 7 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

（特別使用料の還付）

- 第 14 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第 8 条ただし書の規定により特別使用料を還付するものとする。

- (1) 特別使用者の責めに帰することのできない特別な理由により特別使用ができないとき。
(2) その他特別な理由があると認めたとき。

（特別使用者の遵守事項）

- 第 15 条 特別使用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等は、条例第 6 条第 3 項の規定により教育委員会が特別許可の条件として貸与期間を指定したときは、その期間の末日までに返還すること。
(2) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等を損傷し、又は滅失しないように適正に管理すること。
(3) その他教育委員会の指示に従うこと。

（雑則）

- 第 16 条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

平成 27 年度
和歌山市立博物館館報 31

平成 28 年 7 月 16 日発行
編 集 和歌山市立博物館
和歌山市湊本町 3 丁目 2
TEL 073-423-0003
FAX 073-432-9040
発 行 和歌山市教育委員会
和歌山市七番丁 23